HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	東北帝国大学農科大学大学予科の入学者選抜試験
Author(s)	廣瀬, 公彦
Citation	北海道大学大学文書館年報, 15, 27-76
Issue Date	2020-03-31
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/78190
Type	departmental bulletin paper
File Information	2.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

＜ 研究ノート ＞

東北帝国大学農科大学大学予科の入学者選抜試験

廣瀬　公彦

はじめに

1907年９月１日、勅令第236号（1907年６月22日公布）の施行により、札幌農学校は東北帝国大学農科大学となった。「東北帝国大学農科大学官制」（勅令第237号、1907年６月22日公布）は、大学予科、土木工学科、林学科、水産学科を附属すると定めた（以下、東北帝国大学農科大学大学予科を「大学予科」と略し、高等学校大学予科を指す場合は「高等学校」と記して区別する）。

「東北帝国大学農科大学規則」は、「入学在学退学規程」において「本学大学予科ヲ卒業シタル者ヲ以テ其志望スル学科ノ第一年級ニ編入ス」とした上で「前条ノ入学志望者ヲ入学セシメタル後猶ホ欠員アルトキ」に高等学校大学予科第二部の卒業者の入学を許可するとし、かつ「大学予科規則」において「東北帝国大学農科大学ニ入学スル者ノ為メ」に設けた修学年限３年の課程と大学予科を規定した[1)]。東北帝国大学農科大学への入学順位において、大学予科卒業者は高等学校卒業者より上位に位置づけられていた。大学予科は、東北帝国大学農科大学が存在した1907年～1917年にあって高等学校以外に唯一、帝国大学への第一次入学資格を得られる教育階梯であった。1907年度「生徒募集」広告に「大学予科ハ高等学校大学予科第二部ト其程度ヲ同シクシ修業年限ハ三箇年トナルヘシ」と明記している[2)]点に明らかなように、東北帝国大学農科大学としても大学予科を高等学校と並ぶものとする認識を示していた。

こうしたことから、水野一は、大学予科を高等学校の制度に準拠した組織とし、「北大の学部への優先的入学を保証する点を除けば他の旧制高等学校と同じ組織であった」としている[3)]。

これに対して江津和也は、大学予科の教員の身分・待遇・役割や生徒の修業年限が高等学校と同じである一方で、特定大学の予備教育をおこなう大学予科の学科課程は高等学校と大きな違いがあると指摘する。そして、入学者選抜試験についても、高等学校と試験日が異なると述べた。ただ、初めに入学許可を受けた学校に入学するという文部省直轄諸学校に対する規程が大学予科にも適用されたことから「入学資格、入学試験おける取り扱いについては高等学校と全く同一であった」と結論している[4)]。

この入学者選抜試験についてより子細に検討すると、試験日の他にも、生徒募集広告の掲載日、出願期日、試験場所の数など、高等学校と異なる部分が見受けられる。他との比

較をおこなう前に、まずは個別の学校について、より具体的に把握することが必要であろう。そこで本稿では、『官報』の「生徒募集」記事から入学試験の実施状況を、「帝国大学期簿書」（北海道大学大学文書館所蔵）に含まれる教務部作成文書や入学願書などから志願者の出身学校や受験場所を調査し、東北帝国大学農科大学大学予科（1907～1917年度）の入学者選抜試験の実際について考察する。

１．入学者選抜試験の規程とその実施

入学者選抜試験については、『東北帝国大学農科大学一覧』（以下、『一覧』と略す）掲載の「大学予科規則」が定員・志願者資格・検定料金・入学願書の書式を定めている。これに基づいて、『官報』広告欄掲載の「生徒募集」記事に、募集人数・志願者資格・試験科目・出願期日・試験日程（開始日のみ）・試験場所・入学願書の書式などの具体的な実施要項が示された。東北帝国大学農科大学は新聞各社に生徒募集の広告を載せ、「詳細は何月何日の官報を参照すべし」として周知していた[5]。そして、『官報』彙報欄学事記事に「入学許可」を掲載して入学許可者を発表した。

上記の資料によって、志願者資格・日程・科目・場所を表１にまとめた。また、参考として、『文部省年報』[6]、『官報』「入学許可」記事、『一覧』「学生生徒」により、入学志願者数・入学者数・在籍者数を表２として掲げた。そして、それぞれについて項を分けてみていくこととする。

表１　入学者選抜試験の実施状況

年度	入学志願者資格			試験科目		場所
	日程	募集広告掲載日	出願期日	試験日	入学許可掲載日	
1907	・中学校卒業者と専検合格者 ・定員超過の場合は選抜試験を課す			国語漢文、数学、英語、動物学、植物学、化学、物理学		札幌本校、東京
	日程	5月13日	6月25日	7月15日～	7月31日	
1908	〃			国語及漢文、数学、英語、物理、化学		本大学、東京第一高等学校
	日程	4月25日	6月25日	7月14日～	7月28日	
1909	〃			〃		〃
	日程	4月20日	6月10日	6月23日～	7月9日	
1910	〃			国語漢文、英語、数学（代数、幾何、三角）、歴史、物理		〃
	日程	5月11日	6月15日	6月23日～	7月15日	

年度	入学志願者資格			試験科目		場所
	日程	募集広告掲載日	出願期日	試験日	入学許可掲載日	
1911	・中学校卒業者と専検合格者 ・定員超過の場合は選抜試験を課す ・無試験検定を行う			国語及漢文、英語、数学（代数、幾何）、歴史及地理、化学		〃
	日程	4月17日	6月15日 ※5月15日	6月23日～	7月17日	
1912	・中学校卒業者と専検合格者・同規程第8条第1号の指定を受ける者 ・定員超過の場合は選抜試験を課す ・無試験検定を行う			国語及漢文、英語、数学（代数、幾何、三角）、物理		〃
	日程	4月20日	6月14日 ※5月25日	6月21日～	7月13日	
1913	〃			〃		〃
	日程	5月8日	6月17日 ※5月31日	6月23日～	7月11日	
1914	〃			国語及漢文（解釈、書取、作文）、英語（解釈、英訳、書取）、数学（代数、三角法、幾何（平面・立体））、化学		本大学、 東京高等師範学校
	日程	5月1日	6月5日 ※5月20日	6月15日～	7月7日	
1915	〃			国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、英語（英文解釈、国文英訳、書取）、数学（代数、幾何（平面・立体））、物理、動物		本大学、 東京第一高等学校
	日程	4月19日	6月15日 ※5月31日	6月21日～	7月12日	
1916	〃			国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、英語（解釈、国文英訳、書取）、数学（代数、三角法、平面幾何）、化学		〃
	日程	5月2日	6月15日 ※5月31日	6月22日～	7月11日	
1917	〃			国語及漢文（国文解釈、漢文解釈、書取、作文）、英語（解釈、国文英訳、書取）、数学（代数、平面幾何、三角法）、物理		〃
	日程	4月24日	6月15日 ※5月31日	6月23日～	7月5日	

備考１）『東北帝国大学農科大学一覧』「大学予科規則」、および『官報』「生徒募集」記事、『官報』「入学許可」記事により作成した。
２）「入学志願者資格」における「専検合格者」と「無試験検定」は、それぞれ「専門学校入学者検定規程に拠る検定に合格した者」と「高等学校大学予科入学者選抜試験無試験検定規程に拠る無試験検定」を指す。
３）「出願期日」の※印は、無試験検定志願者の出願期限を表す。

表２　入学志願者数・入学者数・生徒数

年度	募集人数	志願者数	入学許可	入学者数	倍率	在籍者数
1907	100	498 （外９）	103 （外２）	103 （外２）	4.8	107
1908	100	335 （外５）	100	100 （外１）	3.4	111
1909	凡ソ100	304 （外35）	100	103 （外２）	3.0	124
1910	凡ソ100	232 （外２）	100	103 （外２）	2.3	119
1911	凡ソ100	362	96	96	3.8	118
1912	凡ソ100	304	100	100	3.0	115
1913	凡ソ100	402 （外２）	105 （外１）	106 （外２）	3.8	111
1914	凡ソ100	339 （外１）	101	102 （外１）	3.3	122
1915	凡ソ100	328	110	112	2.9	116
1916	凡ソ100	359	109	109	3.3	122
1917	凡ソ100	370	109	110	3.4	126

備考１）「募集人数」は『官報』「生徒募集」記事、「志願者数」「入学者数」は『文部省年報』、「入学許可」は『官報』「入学許可」記事により作成した。「在籍者数」は大学予科第１年級の在籍者数を示し、『一覧』「学生生徒」により作成した。
２）「外」は外国人留学生で、内数で示す。
３）倍率は、「志願者数」を「入学者数」で除して算出し、小数点第２位を四捨五入した。

１－１．入学志願者資格

1907年５月13日、札幌農学校は９月に開学する東北帝国大学農科大学の大学予科生徒の募集広告を『官報』に掲載した。入学資格は「中学校ヲ卒業シタル者」もしくは「専門学校入学者検定規程ニ依ル検定ニ合格シタル者」で、「志願者予定人員ニ超過スルトキハ選抜試験ヲ施行シ合格者ニ入学ヲ許ス」としている[7]。1907年６月27日に制定された「東北帝国大学農科大学規則」中の「大学予科規則」では、入学資格を次のように定めた[8]。

> 大学予科ニ入学スルコトヲ得ル者ハ、中学校ヲ卒業シタル者、若クハ専門学校入学者検定規程ニ拠リ検定ニ合格シタル者トス。
>
> 但、入学志望者予定人員ニ超過シタルトキハ選抜試験ヲ行ヒ、其成績優等ナル者ヨリ順次入学セシム。　（句読点は稿者による。以下同じ）

中学校卒業者と専門学校入学者検定規程による検定合格者（以下、「専検合格者」と略す）

に、順位を設けず入学資格を与えている。その後、「百人」だった募集人数が1909年度から「凡ソ百人」となった他、1910年度まで変化はみられない[9]。

1910年５月14日、文部省は「高等学校大学予科入学者選抜試験無試験検定規程」（以下、「無試験検定規程」と略す）を定めた（文部省令第11号）[10]。これは各高等学校に対し、各部各類の募集人数の５分の１以内に限って無試験検定による入学を認めるものであった。その志願には、品行方正・体格強健なこと、受験の年に中学校を卒業していること、第３学年以降同一中学校に在学していること、第３・４学年の学年試験で上位４分の１以上の成績であること、卒業試験で上位10分の１以上の成績であることといった条件が課せられた。

これをうけて、佐藤昌介（東北帝国大学農科大学長）は岡田良平（東北帝国大学総長事務取扱）宛「無試験検定入学者ノ件」（1911年３月８日）において、「無試験検定規程」により大学予科・農学実科・林学科・土木工学科・水産学科へ「若干名」を入学させたい旨を稟請した[11]。これに対して東北帝国大学は、３月15日、「差支ナシ」とした上で「後ヨリ学則改正方稟申アレ」と回答している[12]。３月16日には佐藤昌介から東北帝国大学総長宛「学則中改正ノ件稟請」において、「東北帝国大学農科大学規則」中の「大学予科規則」に次の一文を加えるよう申請をおこなった[13]。

但高等学校大学予科入学者選抜試験無試験検定規程ニ拠ルコトヲ得

３月23日、東北帝国大学は総長名で文部大臣宛に学則改正の稟請をおこない[14]、４月13日付で認可を得た[15]。同年の「大学予科規則」には、改正案通りの一文が付加され[16]、以後1917年まで変更はみられない。

1911年度の『官報』「生徒募集」記事には「無試験検定」の項目が加わり、「無試験検定規程」に基づく無試験検定をおこなうことが記されている[17]。その項目には、1910年５月14日付『官報』に掲載された「無試験検定規程」をほぼそのまま掲載しており、以後1917年まで同様である[18]。

1912年度の『官報』「生徒募集」記事では、中学校卒業者と専検合格者であった志願者資格に、「同規程第八条第一号ノ指定ヲ受ケタル者」が加わった[19]。これは「専門学校入学者検定規程」（文部省令第14号、1903年３月31日）の第８条第１号「文部大臣ニ於テ専門学校ノ入学ニ関シ中学校若ハ修業年限四箇年ノ高等女学校ノ卒業者ト同等以上ノ学力ヲ有スルモノト指定シタル者」を指す。1917年まで同様である[20]が、「大学予科規則」には追記されていない。

1917年４月27日、文部省令第５号により「無試験検定規程」が改正され、無試験検定により入学を許可できる人数が、募集人数の５分の１から20分の１に変更となった[21]。しかし、1917年度の『官報』「生徒募集」記事は４月24日付で掲載されており、当該箇所も「五分ノ一」となっている[22]。

１－２．試験科目

試験科目について「大学予科規則」は定めておらず、毎年度の『官報』「生徒募集」記事に掲載して発表した。年度を追って、科目の変遷を確かめる。

1907年度には、国語漢文、数学、英語、動物学、植物学、化学、物理学を課した[23]。また、「帝国大学期簿書」や当時刊行されていた入学試験問題集に試験問題、時間、稀に日割も掲載されており、それに基づいて各科目の細目を示すと以下のようになる[24]。

・英語（英文解釈４問、国文英訳３問）（３時間）
・数学（６問）（３時間）
・国語漢文（国語４問、漢文４問、作文「本ヲ務ムルノ説」）（３時間）
・物理学（３問）、化学３問（３時間）
・動物学（４問）（１時間15分）
・植物学（４問）（１時間15分）

1908年度は、前年度と比較すると、国語漢文を「国語及漢文」と表記するようになり、動物学と植物学を削除している[25]。細目は以下の通りである[26]。

・英語（英語解釈４問、国文英訳４問）（３時間）
・数学（算術２問、代数２問、幾何２問、三角法２問）（３時間）
・国語及漢文（国語３問、漢文３問、作文600字以内「己ニ克ツノ説」）（３時間）
・物理（３問）、化学（４問）（３時間）

1909年度は、前年と同じ科目を課し[27]、細目は以下の通りである[28]。

・英語（英語解釈３問、和文英訳３問）
・数学（算術２問、代数２問、幾何２問、三角法２問）
・国語及漢文（其一１問、其二２問、其三作文600字以内「修学ノ目的」）
・物理学（４問）
・化学（甲２問、乙２問）

1910年度は、国語及漢文を「国語漢文」と表記する他、数学に「代数、幾何、三角」の細目を表示し、化学を削除して歴史を加えた[29]。細目は以下の通りである[30]。

・英語（英語解釈３問、和文英訳２問、英文法２問）
・数学（代数３問、幾何２問、三角法２問）
・国語及漢文（其一１問、其二１問、其三書取１問、其四作文600字以内「学生ノ本分ヲ論ズ」１問、其五書牘作文「父兄ニ修学旅行ノ模様ヲ報ズル文」１問）
・物理学（甲２問、乙２問）
・歴史（４問）

1911年度は、国語漢文を「国語及漢文」を表記する他、数学の細目から「三角」を削除し、歴史を「歴史及地理」へ、物理を「化学」へ換えた[31]。細目は以下の通りである[32]。

・英語（英語解釈４問各20点、和文英訳４問各20点、英文書取40点）（３時間）
・数学（代数５問各25点）（３時間）

・数学（幾何３問各25点）（３時間）
・国語及漢文（其一１問40点、其二１問40点、其三書取１問40点、其四作文500字以内「学問ト品性」40点、其五書牘作文400字以内「旧師ニ入学試験ノ成績ヲ報ズル文」40点）（３時間）
・化学４問各25点、歴史２問各25点、地理２問各25点（３時間）

1912年度は、数学の細目に「三角」を加え、歴史及地理と化学のかわりに「物理」を課した[33]。細目は以下の通りである[34]。

・英語（英語解釈４問各20点、国文英訳４問各20点、英文書取１問40点）（３時間）
・数学（代数４問各25点、幾何２問各25点、三角２問各25点）（代数と幾何で３時間）
・国語及漢文（国文解釈１問40点、漢文解釈１問40点、書取１問40点、作文500字以内「現代青年ノ覚悟」50点、文法２問各15点）（３時間）
・物理４問各25点（三角とあわせて３時間）

1913年度の科目は前年度から変更はなく[35]、細目は以下の通りである[36]。

・英語（解釈２問80点、国文英訳２問80点、書取１問40点）（３時間）
・数学（代数４問各25点、幾何（平面）２問各25点、三角２問各25点）（代数と幾何で３時間）
・国語及漢文（国文解釈２問60点、漢文解釈２問60点、書取１問30点、作文500字以内「予ガ尊敬スル史上ノ人物」50点）（３時間）
・物理（４問各25点）（三角とあわせて３時間）

1914年度には、科目の細目を明示するようになり、国語及漢文に「解釈、書取、作文」、英語に「解釈、英訳、書取」、数学に「代数、三角法、幾何（平面、立体）」と表記している他、物理を「化学」へ変更した[37]。細目は以下の通りである[38]。

・英語（英文和訳２問、国文和訳２問、書取１問）（３時間）
・数学（代数４問、平面幾何２問、立体幾何１問、三角法１問）（３時間）
・国語及漢文（国文解釈２問、漢文解釈２問、書取１問、作文500字以内「現代文明ノ欠陥」（３時間）
・化学４問（３時間）

1915年度は、細目について「国文解釈」「漢文解釈」「英文解釈」「国文英訳」と具体的に表記するようになった他、数学の「三角法」を削除し、化学を「物理」と「動物」へ変更した[39]。細目は以下の通りである[40]。

・英語（英語解釈２問80点、国文英訳２問80点、書取［40点］）（３時間）
・数学（代数５問125点、幾何立体１問25点、幾何平面２問50点）（３時間30分）
・国語及漢文（国文解釈２問60点、漢文解釈２問60点、作文500字以内「都会ト地方ト」50点）（３時間）
・物理及動物（物理４問100点、動物２問50点）（３時間）

1916年度は、数学の細目から幾何立体を削除して「三角法」を加え、物理と動物を「化

学」へ変更した[41]。細目は以下の通りである[42]。

・英語（英語解釈４問100点、国文英訳２問60点、書取［40点］）
・数学（代数５問100点、幾何２問50点、三角法２問50点）
・国語及漢文（国文解釈３問60点、漢文解釈３問60点、書取１問30点、作文500字以内「予ガ郷里ノ感想」50点）
・化学（５問100点）

1917年度は、化学を「物理」へ換えた[43]。

ところで、『官報』に記載されるのは、試験科目と開始日のみだった。「帝国大学期簿書」の教務部作成文書や入学試験問題集によれば、1907、1911～1913年度の日割は次の通りであった。

1907年度　７月15日７時半～10時半（数学）、７月16日７時半～10時半（英語）、10時45分～正午（植物学）、７月17日７時半～10時半（国語漢文）、10時45分～正午（動物学）、７月18日７時半～10時半（物理学、化学）[44]

1911年度　６月26日８～11時（代数）、６月27日８～11時（幾何）、６月28日８～11時（英語）、６月29日８～11時（国語及漢文）、６月30日８～11時（化学、歴史、地理）[45]

1912年度　６月21日８～16時（体格検査）、６月22日８～16時（体格検査）、６月24日８～11時（数学（代数、幾何）、６月25日８～11時（英語）、６月26日８～11時（国語及漢文）、６月27日８～11時（物理、数学（三角））[46]

1913年度　６月23日８～16時（体格検査）、６月24日８～16時（体格検査）、６月25日８～11時（数学（代数、幾何））、６月26日８～11時（英語）、６月27日８～11時（国語及漢文）、６月28日８～11時（物理、数学（三角））[47]

試験科目は英語、数学、国語を課し、他に毎年異なる科目を課していたことが分かる。試験時間は３時間で、１科目あるいは数科目を合わせることもあった。日程については、はじめの２日間に体格検査、次いで学科試験を１日１科目ずつ（場合によっては２～３科目）おこなうのが例だったと推測される。

また、合否の判断基準についての資料はほとんど見当たらないが、「帝国大学期簿書」中の「入学志願者撰抜試験委員会決議録」[48]にわずかに確認できる。まず1911年７月13日の決議録に、以下の記述がある。

溝渕〔溝淵進馬…稿者注〕予科主任ノ撰定ニヨリ、各学科点数満点ニ対シ四分ノ一以下ノ点数ヲ得タルモノハ省キ、高点者ヨリ九十六名予科ニ入学セシムルニ決ス

試験科目の一つでも満点の４分の１に満たなければ、入学許可の対象から外された。これは1912年７月８日の「決議事項」にもみられる。ただし、以下のような例外も設けられた。

物理十五点ノモノ一名アルモ数学ニ於テ良好ナルヲ以テ~~差支ナキ~~許可ナスコト、ス
物理学ハ例年試験問題トナラサリシニ、本年突然問題トナリタルガ故ニ受検者ニ於不

備ノ点ナキニアラサルヲ以テ数学ニ於テ秀タルモノハ特ニ採用セリ

物理学は1907～1910年にも出題しており、「例年試験問題トナラサリシ」という部分は不審であるが、物理の成績を数学で補う措置は翌年度の1913年７月７日の「入学許可数及其他決議事項」にも次のようにみられる。

物理学規定点ニ達セサルモノ三名アルモ数学ニ於テ優良ナルヲ以テ採用スルコト、セリ

翌1914年７月２日の「決議事項」では、科目の指定がなくなった。

一、入学志願成績中例年ノ通各科目満点ノ四分ノ一ニ満タサルモノハ許可セザル事。但シ其入学各科主任ノ意見ニヨリ多少斟酌スルコトヲ得。異議ナク決定

二、仝四分ノ一ニ満タサル学科二科目アルトキハ絶対入学許可セシメサルコト。原案ノ通リ決定

1914年度には物理を課していないことによるものか、科目にかかわらず「斟酌」することとした上で、２科目以上が満点の４分の１未満の場合はこの措置をとらないことを明記している。

１－３．試験場所

試験の実施場所は、『官報』「生徒募集」記事において示され、札幌もしくは東京から希望する受験地を選択して入学願書に記載するよう指示がなされた。

1907年度の『官報』「生徒募集」記事は試験場を「札幌（本校）及東京」とし、東京については６月25日以降に各志願者に通知するとしている[49]。「受験者心得」によれば、東京高等工業学校であった[50]。この年の願書は105名分が確認でき、希望受験地は札幌13名、東京88名、不記載４名である[51]。全体では、志願者総数491名の希望受験地は、札幌38名、東京453名となった[52]。

1908年度の試験会場は「本大学及東京第一高等学校」であった[53]。以降、1913年度まで会場に変更はない[54]。なお、この年度の願書や受験地の統計資料は確認できていない。

1909年度は、100名の願書が確認でき、希望受験地は札幌16名、東京83名、不記載１名であった[55]。

1910年度は、50名分の願書が確認でき、希望受験地は札幌４名、東京45名、不明１名であった[56]。

1911年度は、100名分の願書が確認でき、札幌12名（うち無試験検定１名）、東京86名（うち無試験検定４名）、不明２名（うち無試験検定１名）であった[57]。

1912年度は、204名分の願書が確認でき、札幌14名（うち無試験検定１名）、東京189名（うち無試験検定３名）、不明１名であった[58]。

1913年度は、106名分の願書が確認でき、希望受験地は、札幌５名（うち無試験検定２名）、東京99名（うち無試験検定２名）、不明２名（２名とも無試験検定）であった[59]。

1914年度の試験会場は「本大学（札幌）及東京高等師範学校（小石川区大塚窪町）」と

なった[60]。願書は42名分が確認でき、希望受験地は、札幌３名（うち無試験検定２名）、東京38名（うち無試験検定４名）、不記載１名（無試験検定）であった[61]。

1915年度から試験会場は「本大学（札幌）及東京第一高等学校」に戻り、1917年度まで変更はない[62]。願書は110名分が確認でき、希望受験地は、札幌17名（うち無試験検定２名）、東京93名（うち無試験検定２名）であった[63]。

1916年度は、109名分の願書が確認でき、希望受験地は、札幌14名（うち無試験検定２名）、東京93名（うち無試験検定４名）、不記載２名（２名とも無試験検定）であった[64]。

1917年度は、109名分の願書が確認でき、希望受験地は、札幌20名（うち無試験検定１名）、東京88名（うち無試験検定２名）、不記載１名（無試験検定）であった[65]。

札幌での受験を希望する者は１～２割であり、多くの受験者を東京で得ていたことがうかがえる。

２．入学志願者の実態

「帝国大学期簿書」には、志願者が提出した「入学願書」と「学業履歴書」、教務部が作成した入学試験関係文書が含まれている。「入学願書」には志願者の氏名・族籍・寄留地・提出日、「学業履歴書」にはこれまで在籍した学校名・卒業年・賞状や修業証書の写しが記載されている。教務部の作成文書には、各種通知の文書などがある。

本節では、「帝国大学期簿書」に基づき、『官報』「入学許可」記事、『一覧』生徒名簿、東北帝国大学の「教務書類」（東北大学史料館所蔵）と対照することで、志願者の実態をみていく。

なお、末尾に付表として、1907～1917年度の志願者の氏名・生年・出身校・中学校卒業後の履歴・受験場所・入学許可の有無・大学予科への在籍などをまとめた一覧表を掲げた。

２－１．志願状況と選抜結果

1907年度については、105名分の願書が確認できる[66]。冒頭からの100名は『官報』「入学許可」記事と順序まで一致する[67]。うち97名は『一覧』生徒名簿とも順序まで一致するが、３名は確認できない[68]。この３名は、『官報』「入学許可」記事掲載の原義書である「入学試験及第者官報掲載ノ件」（1907年７月26日）において、氏名の上に「取消」と書込がなされており、入学許可が取り消されたものと思われる[69]。一方で、願書の冒頭から101番目以降の５名については、「補欠入学許可ノ件」（1907年８月10日）に２名の補欠合格、「補欠入学許可ノ件」（1907年８月26日）に１名の補欠入学、「入学許可ノ件」（1907年８月26日）に留学生２名の仮入学許可として確認できる[70]。なお、『官報』「入学許可」記事で農学実科の１番目に掲載された１名も、『一覧』生徒名簿では大学予科第１年級の補欠入学者の次に記載されており、追加で入学したものと推測される。

上記をまとめると、1907年度は100名に入学許可をだし、うち３名が取消となり、３名を補欠合格とし、農学実科入学許可者１名と、２名の留学生を迎え、大学予科の新入生は103名であった。前年度の札幌農学校予修科第１年級在籍者のうちの８名を加えた111名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1908年度については願書が確認できないが、『官報』「入学許可』記事には100名がみえる[71]。『一覧』生徒名簿では、前年度も第１年級に在籍していた20名に続いて、上記の100名のうちうち87名が順序まで一致して掲載された後、さらに４名が確認できる[72]。それぞれ、留年者、入学許可者、補欠入学者とみなされる。

上記のことから、1908年度は100名に入学許可をだし、うち13名が取消となり、４名の補欠入学を認め、新入生は91名であったとみられる。前年度からの留年者20名を加えた111名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1909年度については、100名分の願書が確認できる[73]。『官報』「入学許可」記事と比較すると、67番目と68番目が逆になっている他は順序まで一致する[74]。うち97名は、『一覧』生徒名簿に順序まで一致して掲載されている（67・68番目は逆になっている）が、３名は確認できない[75]。この３名は、入学許可が取り消されたものと推察される。『一覧』生徒名簿には末尾に留学生２名が掲載されており、補欠入学あるいは仮入学であると思われる。なお、中学校卒業者の他に１名、専検合格者が確認できる。

上記をまとめると、1909年度は100名に入学許可をだし、うち３名が取消となり、２名の留学生を迎え、新入生は99名であった。留年者25名を加えた124名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1910年度については、50名分の願書が確認できる[76]。『官報』「入学許可」記事と比較すると、後半の50名と順序まで一致した[77]。うち49名は、『一覧』生徒名簿に順序まで一致して掲載されているが、１名は確認できない[78]。この１名は、入学許可が取り消されたものと推察される。『官報』にみえる残り50名のうち41名と、留学生２名も、『一覧』に載る。

上記のことから、1910年度は100名に入学許可をだし、うち10名が取消となり、２名の留学生を迎え、新入生は92名であった。留年者27名を加えた119名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1911年度については、100名分の願書が確認できる[79]。このうち86番目までは、『官報』「入学許可」記事中に記載があった[80]。なお、この年から無試験検定が始まっており、願書によって冒頭の６名がそれと判明する。願書の綴りでは、1917年度まで通して無試験検定者の願書はほぼ冒頭に集められている。ところで、『官報』には願書が確認できない10名を加えた96名が記されており、96名の順序は『一覧』生徒名簿と一致している[81]。この10名については、第一に当該の10名を除けば願書と『官報』「入学許可」記事と『一覧』生徒名簿が順序まで一致すること、第二に10名全員が翌年の『一覧』生徒名簿に記載がないこと、第三に例年12月に発行される『一覧』が1911年だけ７月に発行されていること[82]の３点に鑑みて、入学取消となったために願書が綴られていないと推測される。願書の87

番目以降の14名のうち12名は、翌年度の『一覧』生徒名簿の第１年級に10名、第２年級に２名みえる[83]。特に第１年級の10名は名簿冒頭の留年者の中に含まれており、1911年度には入学して在籍していたものと推測できる。すると、この14名は補欠入学許可者で、うち２名は入学しなかった、あるいは第１年級で退校した可能性がある。

上記をまとめると、1911年度は入学許可をだした96名（うち無試験検定者６名）に留年者22名を加えた118名が『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。ただし、『一覧』生徒名簿末尾の総数では大学予科第１年級在籍者が「百十五人」となっているように、『一覧』は入学者が確定する前の情報に基づいているとみられる。実際には、入学許可者96名のうち10名が取消となり、14名（あるいは12名）が補欠入学となり、新入生は100名（あるいは98名）であったと推測される。

1912年度については、帝国大学期簿書２冊に204名分の願書が確認できる[84]。そのうちの１冊に収められた100名は『官報』「入学許可」記事と一致するが、『官報』ではイロハ順となっている[85]。なお、『官報』ではこの年から無試験検定者を「×」印で明示するようになり、ここでは４名に付している。『一覧』生徒名簿は、上記の100名のうち90名を、ほぼ願書の綴り順で掲載しており[86]、10名は入学許可が取り消されたものと推察される。なお、「東北帝国大学農科大学入学者入学前修業学校別　自四十四年十月至大正元年九月」[87]によれば、この年の大学予科入学志願者304名の全員が中学校卒業者であった。

上記をまとめると、1909年度は100名（うち無試験検定者４名）に入学許可をだし、うち10名が取消となり、補欠入学はなく、新入生は90名であった。留年者25名を加えた115名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1913年度については、106名分の願書が確認できる[88]。『官報』「入学許可」記事には、辻𥫱雄を除いた105名がイロハ順で掲載され、無試験検定者６名がみえる[89]。さらに18名を除いた87名が、『一覧』生徒名簿に、願書の綴り順でみえ[90]、18名が入学許可を取り消されたものと推察される。なお、「東北帝国大学農科大学入学者入学前修業学校別　自大正元年十月至大正二年九月」[91]によれば、この年の大学予科入学志願者401名について、中学校卒業者400名のうち105名と、「支那師範学校」卒業者１名が入学を果たした。105名は『官報』「入学許可」記事掲載者とみられるが、「支那師範学校」卒業者は、『一覧』生徒名簿の末尾に載る聴講生の劉翰臣かと推測される。

上記をまとめると、1913年度は105名（うち無試験検定者６名）に入学許可をだし、うち18名が取消となり、聴講生として留学生１名を迎え、新入生は88名であった。留年者23名を加えた111名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1914年度については、42名分の願書が確認できる[92]。全員が『官報』「入学許可」記事と一致するが、『官報』はイロハ順に排列し、無試験検定者５名がみえる[93]。『一覧』生徒名簿と比較すると、願書の１～39番目は７名を除いて順序まで一致し、40～42番目が１番目の前に置かれている[94]。７名は入学許可を取り消されたものと推察される。40～42番目は無試験検定希望者であり、願書でも冒頭にまとめられるのが例のため、願書の綴りの錯

簡である可能性がある。なお、34番目の武田憲治と37番目の門馬武捷は無試験検定を希望していたが、『官報』で無試験検定者の印がなく、『一覧』でも留年者の次に集められた無試験検定者の中にいない。これは、「無試験検定規程」および大学予科の生徒募集記事に「無試験検定ニ依リ入学ヲ許可セスト決定シタル者ハ選抜試験ヲ受クルモノトス」とある通り、選抜試験の受験者となったものとみなされる。『官報』にみえる残り59名のうち53名が『一覧』で確認でき、『一覧』では続いて５名も載る。

上記のことから、1914年度は101名（うち無試験検定者５名）に入学許可をだし、うち13名が取消となり、補欠入学を５名に認め、新入生は93名となった。留年者29名を加えた122名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1915年度については、110名分の願書が確認できる[95]。全員が『官報』「入学許可」記事にイロハ順で掲載され、無試験検定者４名がみえる[96]。『一覧』生徒名簿には、そのうち94名が願書の綴り順で掲載されている[97]。残る16名は入学許可が取り消されたものと推察される。

上記をまとめると、1915年度は110名（うち無試験検定者４名）に入学許可をだし、うち16名が取消となり、補欠入学はなく、新入生は94名であった。留年者22名を加えた116名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1916年度については、109名分の願書が確認できる[98]。全員が『官報』「入学許可」記事に五十音順で掲載され、無試験検定者８名がみえる[99]。『一覧』生徒名簿には、そのうち102名が願書の綴り順で掲載されている[100]。残る７名は入学許可が取り消されたものと推察される。

上記をまとめると、1916年度は109名（うち無試験検定者８名）に入学許可をだし、うち７名が取消となり、補欠入学はなく、新入生は102名であった。留年者20名を加えた122名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

1917年度については、109名分の願書が確認できる[101]。全員が『官報』「入学許可」記事に五十音順で掲載され、無試験検定者４名がみえる[102]。『一覧』生徒名簿には、そのうち101名がほぼ願書の綴り順で掲載されている[103]。残る８名は入学許可が取り消されたものと推察される。なお、生徒名簿の末尾に井上和吉が載るが、願書にも『官報』にも名前がみえず、補欠入学かと推測される。

上記をまとめると、1917年度は109名（うち無試験検定者４名）に入学許可をだし、うち８名が取消となり、補欠入学１名を加え、新入生は102名であった。留年者24名を加えた126名が、『一覧』大学予科第１年級の名簿に記載されている。

このように、願書の綴りは入学許可者以外を綴っている１冊を除いて入学許可者とほぼ重なった。その排列においては、無試験検定者を冒頭に置くことを基本とする。『官報』「入学許可」記事の排列は年により異なり、1907、1909～1911年度は願書の綴りと一致し、1912～1915年度はイロハ順、1916～1917年度は五十音順をとる。また、無試験検定者には「×」印を付して明示していた。『一覧』生徒名簿の排列は、冒頭に留年者を、次に願書の綴り

順と同じく無試験検定者とそれ以外の順序で入学許可者を、続いて補欠入学者を、末尾に留学生や聴講生を掲載するというものであった。

毎年度の入学許可者は約100名で、そのうち約10名が入学許可取消となり、補欠入学により若干名を補っていた。留年者が毎年度20名ほどいたため、第１年級在籍者は110～120名を保っていた。

２－２．志願者の出身学校所在地

志願者の出身学校の所在地を、入学願書の「学業履歴書」から求めた。その結果を地方ごとにまとめ、表３として示す。

表３　志願者の出身学校所在地

（単位：数値は人数で（　）内は学校数、道府県数は個）

	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	合計	道府県数
1907	14(4)	7(7)	28(20)	17(11)	13(7)	9(7)	4(3)	11(9)	103(68)	38
1909	11(3)	21(14)	21(17)	18(14)	7(6)	6(6)	5(3)	10(9)	99(72)	30
1910	4(3)	7(6)	14(13)	10(8)	5(5)	4(4)	1(1)	5(5)	50(45)	29
1911	16(4)	9(4)	29(22)	24(19)	12(9)	3(3)	2(2)	5(5)	100(63)	32
1912	17(5)	25(17)	55(34)	36(24)	27(19)	22(16)	7(5)	15(12)	204(132)	43
1913	7(3)	9(8)	30(24)	19(14)	11(10)	10(8)	5(4)	15(11)	106(82)	37
1914	5(4)	4(3)	9(8)	6(5)	5(4)	3(3)	2(2)	5(4)	39(35)	24
1915	16(5)	18(12)	20(15)	18(12)	10(8)	7(6)	2(1)	19(14)	110(73)	36
1916	15(4)	11(8)	30(21)	18(16)	16(13)	9(8)	2(2)	8(8)	109(80)	39
1917	21(6)	20(13)	25(23)	13(10)	11(9)	1(1)	2(2)	13(10)	106(77)	34

備考　帝国大学期簿書0167～0175、0177～0179により作成した。

道内の中学校出身者は、一番少ない1913年度で6.6％、一番多い1917年度で19.8％を占め、おおむね10％前後を推移している。出身校には、庁立札幌中学校（1895年開校、1915年に町立札幌第一中学校と改称）、庁立函館中学校（1895年開校）、庁立小樽中学校（1902年開校）、庁立上川中学校（1903年開校）、私立北海中学校（1905年開校）があり、1917年度より庁立札幌第二中学校（1913年開校）もみえはじめる。

出身中学校の所在地はおおむね30道府県以上にわたり、全国から生徒が来ていたことがうかがえる。最も多いのは常に関東地方で、毎年度25％程度を維持している。中でも東京が突出しており、1907年度19名12校、1909年度18名14校、1910年度10名９校、1911年度17名11校、1912年度36名22校、1913年度21名16校、1914年度６名５校、1915年度11名８校、1916年度16名13校、1917年度15名13校と、関東地方の中でも過半数を占めていた。

おわりに

ここまで、東北帝国大学農科大学大学予科の入学者選抜の実施状況と、入学志願者の実態についてみてきた。

大学予科の志願者資格は、中学校卒業者および専検合格者であった。実際の志願者について確認できた範囲では、専検合格者は１名しかおらず、他に中国の師範学校卒業者がみえる他は、ほとんどが中学校卒業者であった。そして1911年度から無試験検定が開始され、毎年５％程度に無試験検定による入学許可を出していた。1914年度にみられたように、無試験検定を志願しても認められず、選抜試験を経て入学する場合もあった。

選抜試験の日程は、日割の確認できた1912・1913年の例より推して、『官報』掲載の試験開始日から２日間を体格検査にあて、その後に学科試験を毎日の午前におこなった。合否の判断基準については、1911年度に、１科目でも満点の４分の１を下回る場合は入学を許可しない方針がみられるが、物理の得点に関して例外措置もとられ、1914年度には１科目までであれば「斟酌」することとなった。

試験会場は札幌と東京に設けられたが、願書によれば志願者の９割が東京での受験を希望しており、1907年度志願者全体の統計より推して、この割合は全体でも変わらないと推測される。大学予科は、主に東京において受験者を獲得していたといえよう。

今回参照した資料の構成については、以下のことが明らかになった。「帝国大学期簿書」に綴られた願書の排列順は、基本的に『一覧』生徒名簿と一致しており、1907、1909～1911年度については『官報』「入学許可」記事とも一致する。これは、無試験検定者を冒頭に据え、その他を成績順に並べたものではないかと推測される。『一覧』生徒名簿は、冒頭に留年者を配置し、続いて『官報』「入学許可」記事に載る無試験検定者とその他の入学許可者を願書の綴り順で並べ、最後に補欠入学者、留学生、聴講生を掲載する。

毎年度の『官報』「入学許可」記事を掲載した後に入学取消となる者が10名ほどいたが、1907年度や1914年度のように３～５名の補欠入学をおこなう年もある一方で、1912年度や1913年度のように全くおこなわない場合もあった。留年者が20名ほどいたため、定員は常に満たしていた。入学許可者の入学率や補欠入学の多寡は、文部省直轄諸学校については最前に入学許可を受けた学校へ入学するよう定めた文部省告示（1903年４月30日付、第96号）を大学予科にも適用する措置がとられた[104]ことと関わると思われるが、他の学校との比較検討を要するため、今後の課題としたい。

［注］

１）『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十年至明治四十一年』（1907年12月）、31ページおよび40ページ。

２）1907年５月13日付『官報』12ページ。

３）水野一「予科教育の特色」（『北大百年史　通説』ぎょうせい、1982年７月）。

４）江津和也「東北帝国大学農科大学附属大学予科に関する一考察――大学令施行（一九一八年）以前における帝国大学予科の性格」（『早稲田大学大学院教育学研究科紀要』別冊11号-2、2004年３月）。

５）帝国大学期簿書0291「入学試験ニ関スル書類　明治四十年七月」所収「生徒募集広告ノ件」（1907年５月17日）には18紙に２回ずつ広告を掲載すること、帝国大学期簿書0292「入学試験ニ関スル書類　明治四十一年四月」所収「生徒募集ノ件」（1908年６月６日）には６紙に１回ずつ掲載することが記されている（「帝国大学期簿書」は北海道大学大学文書館所蔵）。

６）『日本帝国文部省第三十五年報　自明治四十年至明治四十一年』上巻（1909年５月）から『日本帝国文部省第四十五年報　自大正六年四月至大正七年三月』上巻（1919年11月）を、各年度の『文部省年報』と略す。
７）注２）前掲『官報』。
８）注１）前掲『一覧』、41ページ。
９）1908年４月25日付『官報』20～21ページ、1909年４月20日付『官報』22～23ページ、1910年５月11日付『官報』16ページ。
10）1910年５月14日付『官報』１～２ページ。
11）入試／1995／04「教務書類（農科）／明治四十四年度」所収、東北大学史料館所蔵。
12）注11）前掲「教務書類（農科）」所収「農科大学へ回電案」（1911年３月15日）。
13）注11）前掲「教務書類（農科）」所収。なお、農学実科・林学実科・土木工学科・水産学科の各規則にも同文を追加する旨も記されている。
14）注11）前掲「教務書類（農科）」所収「学則中改正ノ件稟請案」（1911年３月26日）。
15）注11）前掲「教務書類（農科）」所収、東北帝国大学宛文部大臣小松原英太郎文書（文部省亥北専３号、1911年４月13日）。
16）『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十四年至明治四十五年』（1911年７月）、44～45ページ。
17）1911年４月17日付『官報』16～17ページ。
18）「高等学校」から「本学」への変更、「二箇以上ノ高等学校ニ提出スルコトヲ得ス」という項目の削除等がおこなわれているが、無試験検定への出願資格や募集人数に対する割合は全く同じである。
19）1912年４月20日付『官報』40～41ページ。
20）1913年５月８日付『官報』18～19ページ、1914年５月１日付『官報』32～33ページ、1915年４月19日付『官報』14～15ページ、1916年５月２日付『官報』22～23ページ。
21）1917年４月27日付『官報』３ページ。
22）1917年４月24日付『官報』23～24ページ。
23）注２）前掲『官報』。
24）『明治四十年度諸官立学校入学試験問題集』（金刺芳流堂・武田芳進堂、1907年８月、151～156ページ）による。他に、『四拾年度諸官立学校入学試験問題集』（数理学館、1907年８月）、『中学世界』（第10巻第12号、1907年９月）、『明治四十年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂・武田芳進堂、1907年10月）、『四十年度諸官立学校入学試験問題集　続篇』（東華堂、1907年10月）もある。
25）注９）前掲1908年４月25日付『官報』。
26）『明治四十一年度諸官立学校入学試験問題集』（金刺芳流堂、1908年９月、192～196ページ）による。他に、『中学世界』（第11巻第12号、1908年９月）、『四十一年度諸官立学校入学試験問題集　続篇』（東華堂書店、1908年10月）、『明治四十一年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、1909年１月）もある。
27）注９）前掲1909年４月20日付『官報』。
28）『明治四十二年度諸官立学校入学試験問題集』（金刺芳流堂、1909年８月、90～95ページ）による。他に、『中学世界』（第12巻第12号、1909年９月）、『明治四十二年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺京大出版部）もある。
29）注９）前掲1910年５月11日付『官報』。
30）『明治四十三年度諸官立学校入学試験問題集』（金刺芳流堂、1910年８月、41～45ページ）による。他に、『中学世界』（第13巻第12号、1910年９月）、『明治四十三年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、1910年10月）、『四十三年度諸官立学校入学試験問題集　続篇』（東華堂、1910年10月）もある。
31）注17）前掲『官報』。

32）『中学世界』第14巻第12号（1911年９月、48～51ページ）および『四十四年度諸官立学校入学試験問題集　続篇』（東華堂、1911年９月）による。他に、『明治四十四年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、1911年９月）もある。
33）注19）前掲『官報』。
34）帝国大学期簿書0290「入学志願者撰抜試験委員会決議録　明治四十四年六月以降」所収1912年５月８日決議録、および『中学世界』第15巻第12号（1912年８月、38～41ページ）による。他に、『明治四十五年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、1912年９月）、『最近東京遊学案内』（東華堂書店、1914年３月、1914年４月再版）もある。
35）注20）前掲1913年５月８日付『官報』。
36）注34）前掲帝国大学期簿書0290所収1913年５月20日決議録、および『中学世界』第16巻第12号（1913年９月、58～60ページ）による。他に、『大正二年度諸官立学校入学試験問題答案詳解』（金刺芳流堂、1913年９月）、『東京遊学案内』（大洋堂書店、1913年10月）もある。
　なお、英語の細目で1913年５月20日決議録に「解釈二問六〇点」とあるが、うすく「六」を消して「八」に直している。
37）注20）前掲1914年５月１日付『官報』。
38）『中学世界』第17巻第12号（1914年９月、32～34ページ）による。ただし、英文和訳や国文英訳といった細目ごとに「三時間」と記す点については、科目ごとの時間と解して訂正した。また、英語書取は記載されていないが、『官報』により推測して補った。
39）注20）前掲1915年４月19日付『官報』。
40）『中学世界』第18巻第12号（1915年９月、31～34ページ）による。英語書取は記載されていないが『官報』により補い、配点を推測して付記した。
41）注20）前掲1916年５月２日付『官報』。
42）『中学世界』第19巻第12号（1916年９月、90～93ページ）による。英語書取は記載されていないが『官報』により補い、配点を推測して付記した。
43）注22）前掲『官報』。
44）注５）前掲帝国大学期簿書0291所収「受験者心得ノ件」（1907年６月28日）および「入学試験ノ件通牒案」（1907年６月27日）。
45）『四十四年度諸官立学校入学試験問題集　続篇』（東華堂、1911年９月）、118～123ページ。
46）注34）前掲帝国大学期簿書0290所収1912年５月８日決議録。
47）注34）前掲帝国大学期簿書0290所収1913年５月20日決議録。
48）注34）前掲帝国大学期簿書0290。
49）注２）前掲『官報』。
50）注５）前掲帝国大学期簿書0291所収「受験者心得ノ件」（1907年６月28日）の「受験者心得」朱書。
51）帝国大学期簿書0167「大学予科入学願書　合格ノ分　明治四十年七月」。
52）注５）前掲帝国大学期簿書0291所収「入学試験ノ件通牒案」（1907年６月27日）。
53）注９）前掲1908年４月25日付『官報』。
54）注９）前掲1909年４月20日付『官報』、1910年５月11日付『官報』、注17）前掲1911年４月17日付『官報』、注19）前掲1912年４月20日付『官報』、注20）前掲1913年５月８日付『官報』。
55）帝国大学期簿書0168「大学予科入学志願書　合格　明治四十二年」。
56）帝国大学期簿書0169「大学予科入学願書　明治四拾参年七月」。
57）帝国大学期簿書0170「予科入学願書　入学許可ノ分　明治四拾四年七月」。
58）帝国大学期簿書0171「大学予科入学願書　明治四十五年七月」、および帝国大学期簿書0172「大学予科入学願書　弐冊ノ内　大正元年九月」。

59）帝国大学期簿書0173「大学予科入学願書　大正二年七月」。
60）注20）前掲1914年５月１日付『官報』。
61）帝国大学期簿書0174「大学予科　其ノ一　大正三年」。
62）注20）前掲1915年４月19日付『官報』、1916年５月２日付『官報』、注22）前掲1917年４月24日付『官報』。
63）帝国大学期簿書0175「大学予科入学願書　大正四年七月」。
64）帝国大学期簿書0177「大学予科入学願書（一）　大正五年七月」、および帝国大学期簿書0178「大学予科入学願書（二）　大正五年七月」。
65）帝国大学期簿書0179「大学予科入学願書　大正六年七月」。
66）注51）前掲帝国大学期簿書0167。
67）1907年７月31日付『官報』10ページ。
68）注１）前掲『一覧』「学生生徒名」（1907年10月末日現員）大学予科生徒第１年級、111～114ページ。
69）注５）前掲帝国大学期簿書0291所収。
70）いずれも注５）前掲帝国大学期簿書0291所収。
71）1908年７月28日付『官報』14ページ。
72）『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十二年至明治四十三年』（1908年12月）の「学生生徒」（1908年10月20日現員）大学予科生徒第１年級（117～119ページ）。
73）注55）前掲帝国大学期簿書0168。
74）1909年７月９日付『官報』14ページ。
75）『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十三年至明治四十三年』（1909年12月）の「学生生徒」（1909年11月15日現員）大学予科生徒第１年級（122～124ページ）。
76）注56）前掲帝国大学期簿書0169。
77）1910年７月15日付『官報』12ページ。
78）『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十三年至明治四十四年』（1910年12月）の「学生生徒」（1910年９月12日現在）大学予科生徒第１年級（122～125ページ）。
79）注57）前掲帝国大学期簿書0170。
80）1911年７月17日付『官報』12ページ。
81）注16）前掲『一覧』の「学生生徒」（1911年７月現在）大学予科生徒第１年級（136～139ページ）。
82）入学許可者が７月17日付『官報』に掲載されたのに対し、『一覧』は７月20日印刷、７月25日発行であった。
83）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正元年至大正二年』（1912年12月）の「学生生徒」（1912年９月現在）大学予科生徒第１・２年級（143～147ページ）。
84）注58）前掲帝国大学期簿書0171に100名分願書が、帝国大学期簿書0172に104名分の願書が収められている。
85）1912年７月13日付『官報』９ページ。
86）注83）前掲『一覧』。願書の綴り順で21・22番目が逆転するほか、26番目の藤井武平と98番目の藤井清太郎、68番目の小林一勝と97番目の小林直材が入れ替わっている。
87）入試／1995／05「教務書類（本部）／明治四十五年度」所収、東北大学史料館所蔵。
88）注59）前掲帝国大学期簿書0173。
89）1913年７月11日付『官報』10ページ。
90）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正三年至大正三年』（1913年12月）の「学生生徒」（1913年９月現在）大学予科生徒第１年級（165～168ページ）。
91）入試／1995／08「教務書類　甲／大正二年度」所収、東北大学史料館所蔵。

92）注61）前掲帝国大学期簿書0174。
93）1914年７月７日付『官報』13ページ。
94）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正三年至大正四年』（1914年12月）の「学生生徒」（1914年９月現在）大学予科生徒第１年級（161～164ページ）。
95）注63）前掲帝国大学期簿書0175。
96）1915年７月12日付『官報』13ページ。
97）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正四年至大正五年』（1916年２月）の「学生生徒」（1915年９月現在）大学予科生徒第１年級（164～165ページ）。
98）注64）前掲帝国大学期簿書0177に50名分が、帝国大学期簿書0178に59名分の願書が収められている。
99）1916年７月11日付『官報』15ページ。
100）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正五年至大正六年』（1916年12月）の「学生生徒」（1916年10月現在）大学予科生徒第１年級（167～168ページ）。
101）注65）前掲帝国大学期簿書0179。
102）1917年７月５日付『官報』５ページ。
103）『東北帝国大学農科大学一覧　自大正六年至大正七年』（1917年12月）の「学生生徒」（1917年11月現在）大学予科生徒第１年級（168～170ページ）。ただし、願書で40～43番目に綴られていた４名が、５～８番目に移っている。
104）「東北帝国大学農科大学大学予科ハ入学出願者取扱上直轄諸学校ト見做ス」（1907年８月17日未雑専第116号、専門学務局伺定、『文部省例規類纂　自明治三十年至大正十二年』帝国地方行政学会、1924年12月、595ページ）。

［後記］　本研究は、JSPS 科研費 JP19K14049の助成を受けたものである。

（ひろせ　きみひこ／北海道大学大学文書館員）

付表１　1907年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	原田三夫	1890	県立第一中学校	愛知	1907		東京	○	○
2	香村岱二	1889	府立天王寺中学校	大阪	1907		東京	○	○
3	桑原利英	1886	県立忠海中学校	広島	1905		東京	○	○
4	大高長太郎	1886	県立高松中学校	香川	1905		東京	○	○
5	山田桂輔	1887	県立柏崎中学校	新潟	1905		東京	○	○
6	谷村愛之助	1887	府立第一中学校	京都	1906		東京	○	○
7	日高静代	1884	県立第一鹿児島中学校	鹿児島	1904	正則英語学校（1904.9–1907.3）、正則予備学校（1904.9–1907.3）	東京	○	○
8	長橋正道	1887	私立明治学院普通学部	東京	1905	私立明治学院高等学部（1905.4–9）	東京	○	○
9	吉田吾一	1888	県立第一中学校	三重	1906	正則英語学校（1906.4–）	東京	○	○
10	今井仲二	1886	庁立小樽中学校	北海道	1906		札幌	○	○
11	前川徳次郎	1886	県立高松中学校	香川	1904			○	○
12	安積一郎	1889	庁立札幌中学校	北海道	1906		札幌	○	○
13	山根甚信	1889	県立第一中学校	鳥取	1907		東京	○	○
14	馬場仙太郎	1887	庁立札幌中学校	北海道	1907		札幌	○	○
15	川瀬逝二	1888	県立福井中学校	福井	1905		東京	○	○
16	有泉方松	1888	県立山梨県第一中学校	山梨	1906		東京	○	○
17	長谷川悌次	1890	県立静岡中学校	静岡	1907		東京	○	○
18	坂田保喜	1886	県立中学済々黌	熊本	1904		東京	○	○
19	古屋元輔	1888	県立山口中学校	山口	1906	県立山口中学校補習科（1906.4–5）、私立早稲田高等予備校（1907.1–）	東京	○	○
20	佐藤浩策	1887	東京高等師範学校附属中学校	東京	1906		東京	○	○
21	松尾修一	1885	県立高梁中学校	岡山	1906		東京	○	○
22	角田源蔵	1889	県立甲府中学校	山梨	1907		東京	○	○
23	田中五一	1889	東京高等師範学校附属中学校	東京	1907		東京	○	○
24	市川厚一	1888	府立第一中学校	東京	1906		東京	○	○
25	鈴木重敏	1888	県立高崎中学校	群馬	1906		東京	○	○
26	深谷留三	1887	庁立札幌中学校	北海道	1907		札幌	○	○
27	金子恭一	1885	府立第一中学校	京都	1906	早稲田大学商科	東京	○	○
28	篠田省吾	1886	県立広島中学校	広島	1905		東京	○	○
29	渡辺正	1884	庁立札幌中学校	北海道	1903		東京	○	○
30	丸山猪之輔	1887	私立中学郁文館	東京	1905			○	○
31	寺本孝	1889	私立北海中学校	北海道	1907		札幌	○	○
32	山崎平準	1887	県立土浦中学校	茨城	1906	私立中央大学予科（1906.9–）	東京	○	
33	藤原善二	1886	県立盛岡中学校	岩手	1905	盛岡高等農林学校（1905.4–5）	東京	○	○
34	吉見貞次	1886	私立京華中学校	東京	1905		東京	○	○
35	宮川英松	1886	私立順天中学校	東京	1906		東京	○	○
36	蓮見道太郎	1887	府立第三中学校	東京	1907		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
37	野村龍吉	1887	府立第一中学校	東京	1907		東京	○	○
38	小西棟平	1887	県立三豊中学校	香川	1905		東京	○	○
39	大久保亮	1886	県立新発田中学校	新潟	1905		東京	○	○
40	滝沢栄億	1887	県立長野中学校	長野	1906	中央大学予科（1907.4-）	東京	○	○
41	山内憲次	1889	府立天王寺中学校	大阪	1907		東京	○	○
42	佐藤退三	1883	県立第二中学校	青森	1904		東京	○	○
43	加藤茂雄	1887	私立正則中学校	東京	1905		東京	○	○
44	長崎虎雄	1886	県立中学海南学校	高知	1903		東京	○	○
45	野津久雄	1886	府立天王寺中学校	大阪	1905		東京	○	○
46	藍野祐之	1888	県立千葉中学校	千葉	1907		東京	○	○
47	石上数雄	1888	県立静岡中学校	静岡	1906		東京	○	○
48	相馬亮平	1886	県立新発田中学校	新潟	1905		東京	○	○
49	木下英夫	1886	県立小城中学校	佐賀	1905	私立日本大学校（1906.4-）	東京	○	○
50	松山潜蔵	1885	県立中学猶興館	長崎	1905		東京	○	○
51	奈良部都義	1886	県立会津中学校	福島	1906			○	○
52	青山正義	1885	県立第三中学校	青森	1905		東京	○	○
53	柳沢英夫	1889	県立野沢中学校	長野	1907		東京	○	○
54	浅野所助	1885	府立第一中学校	東京	1905	府立第一中学校補習科（1905.4-7）、第七高等学校（1905.9-1906.7）、明治大学予科（1906.9-）	東京	○	
55	宮田晋策	1886	私立明治学院普通学部	東京	1905	早稲田中学内高等予備校（1906.9-）	東京	○	○
56	松岡次郎	1886	私立日比谷中学校	東京	1903	私立正則英語学校（1903.4-1904.4）、私立数理学館（1904.5-1905.4）、私立法政大学予科（1905.11-1906.5, 1906.6-）	東京	○	○
57	三隅英雄	1888	県立豊浦中学校	山口	1907		東京	○	○
58	大森初太郎	1888	庁立札幌中学校	北海道	1906		札幌	○	○
59	草間正慶	1887	府立第一中学校	東京	1906		東京	○	○
60	馬場庄介	1888	庁立札幌中学校	北海道	1906	私立中央高等予備校（1906.9-）	東京	○	○
61	赤城五十羽	1888	県立和歌山中学校	和歌山	1907		東京	○	○
62	小田郁治	1889	県立第四中学校	愛知	1906	私立麻布中学校補習科（1906.4-9）、私立国民英学会（1906.4-）、私立研数学館（1906.9-）	東京	○	○
63	山口正三	1885	県立川越中学校	埼玉	1904		東京	○	○
64	古堅宗昌	1886	県立中学校	沖縄	1906		東京	○	○
65	坂村徹	1888	県立広島中学校	広島	1907		東京	○	○
66	田中義基	1889	府立北野中学校	大阪	1907		札幌	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
67	永安周亮	1887	県立山口中学校	山口	1906	正則英語学校(1906.4-)、明治大学高等予科(1907.1-)	東京	○	○
68	柴田良太郎	1887	県立前橋中学校	群馬	1907	私立順天中学校補習科(1907.4-)	東京	○	○
69	佐野恒	1888	県立杵築中学校	大分	1905		東京	○	○
70	鈴田巌	1888	府立第一中学校	東京	1905		東京	○	○
71	林忠次	1888	県立山梨県第一中学校	山梨	1906		東京	○	
72	佐藤利一	1887	県立福島中学校	福島	1906		東京	○	○
73	堀田喜満	1886	県立八代中学校	熊本	1905		東京	○	○
74	森庫太郎	1887	私立京華中学校	東京	1905	私立正則英語学校高等受験科(1905.4-1906.6)、私立明治大学(1906.9-)	東京	○	○
75	木村憲七郎	1889	県立新発田中学校	新潟	1906		東京	○	○
76	滝山三馬	1886	県立中学猶興館	長崎	1906		東京	○	○
77	安次富松蔵	1887	県立中学校	沖縄	1907		東京	○	○
78	山根貞一	1888	府立第一中学校	京都	1906		東京	○	○
79	西田昌俊	1885	県立魚津中学校	富山	1904		東京	○	○
80	浦川卯之助	1890	府立北野中学校	大阪	1907		東京	○	○
81	津田欣平	1888	私立東北学院	宮城	1907		札幌	○	○
82	川上三郎	1888	私立牛込早稲田中学校	東京	1906		東京	○	○
83	高沢武雄	1885	東京高等師範学校附属中学校	東京	1904	私立正則英語学校･私立正則予備学校(1907.1-)	東京	○	○
84	白勢寛治	1887	県立新発田中学校	新潟	1904		東京	○	○
85	小林亮四郎	1888	県立延岡中学校	宮崎	1906		東京	○	○
86	村井勝	1885	県立小松中学校	石川	1906		東京	○	○
87	松永董	1887	県立前橋中学校	群馬	1905	県立前橋中学校補習科(1905.3-5)、私立正則英語学校(1905.9-1906.1)、私立開成中学校補習科(1906.9-1907.3)、私立中央大学予科(1907.3-)	東京	○	○
88	四方直蔵	1888	府立第三中学校	京都	1907		東京	○	○
89	阪本松次郎	1887	県立郡山中学校	奈良	1906		東京	○	○
90	松井精一	1890	県立富岡中学校	群馬	1906		東京	○	○
91	中島広吉	1889	庁立札幌中学校	北海道	1906		札幌	○	○
92	藤田瑾太	1886	府立第一中学校	京都	1905		東京	○	○
93	湯地定清	1890	庁立札幌中学校	北海道	1907		札幌	○	○
94	大橋敏	1889	庁立函館中学校	北海道	1907		札幌	○	○
95	小貫太重	1886	県立真岡中学校	栃木	1905	私立法政大学予科(1905.11-)		○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
96	立花繁	1886	県立鹿児島第一中学校	鹿児島	1906		東京	○	○
97	増原薫三	1885	私立日彰館中学校	広島	1904		東京	○	○
98	植木栄	1888	県立下妻中学校	茨城	1906		東京	○	○
99	丹羽八郎	1887	庁立札幌中学校	北海道	1907		札幌	○	○
100	三宅可	1884	庁立札幌中学校	北海道	1905		東京	○	○
101	坂井新四郎	1888	私立立教中学校	東京	1907	正則英語学校	東京		○
102	和田直義	1888	庁立札幌中学校	北海道	1907		札幌		○
103	庄司直七	1885	県立山形中学校	山形	1904	私立正則英語学校（1904.4–9）、私立中央大学	東京		○
104	陳嶸	1888	平陽中学堂	清国		私立高等予備校（1907.1–）	東京		○
105	方悌	1889	平陽中学堂	清国		同文書院（1906.9–1907.3）、私立高等予備校（1907.4–）	東京		○

備考１）「番号」は、原則として出典とした資料の順序に従って排列したものに、便宜上付した。以下、同じ。
２）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0167「大学予科入学願書　合格ノ分　明治四十年七月」による。なお、「受験地」は受験希望地を表す（以下、同じ）。
３）「入学許可」は、「入学許可」（1907年７月31日付『官報』10ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを表す。
４）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十年至明治四十一年』（1907年12月）の「学生生徒名」（1907年10月末日現員）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表２　1909年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	坂田謙治	1887	県立佐原中学校	千葉	1907		東京	○	○
2	広田正躬	1888	県立長岡中学校	新潟	1907		東京	○	○
3	八谷正義	1891	県立広島中学校	広島	1909		東京	○	○
4	村井義一	1891	県立金沢第一中学校	石川	1909		東京	○	○
5	衣笠悟	1888	県立杵築中学校	大分	1907		東京	○	○
6	松村清三郎	1889	県立大館中学校	秋田	1909		札幌	○	○
7	松原憲雄	1888	県立仙台第一中学校	宮城	1908		東京	○	○
8	岡村精次	1888	私立東北中学校	宮城	1909		札幌	○	○
9	逸見武雄	1889	庁立札幌中学校	北海道	1908		札幌	○	○
10	岸本屯	1890	府立天王寺中学校	大阪	1908		東京	○	○
11	竹内叔雄	1890	府立第四中学校	東京	1908		東京	○	○
12	吉川宥一	1889	庁立札幌中学校	北海道	1908		札幌	○	○
13	前森永貞	1891	県立荘内中学校	山形	1909		東京	○	○
14	加藤義夫	1888	県立高田中学校	新潟	1907		東京	○	○
15	山口巌太郎	1889	県立荘内中学校	山形	1909		東京	○	○
16	安藤四郎	1891	私立早稲田中学校	東京	1908		東京	○	○
17	大島外三雄	1889	県立安積中学校	福島	1907		東京	○	○
18	渡辺豊治	1889	県立新潟中学校	新潟	1908		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
19	菊池土用三	1888	県立第一中学校	愛知	1908	第一中学校補習科（1908-）	東京	○	○
20	小林甚三郎	1890	庁立札幌中学校	北海道	1908		札幌	○	○
21	諸富敏	1889	県立中学明善校	福岡	1908		東京	○	○
22	今見昇	1887	県立中学修猷館	福岡	1907	中央大学予科（1907.9-）	東京	○	○
23	佐藤弘毅	1889	県立相馬中学校	福島	1908		東京	○	○
24	浅田泰輔	1890	私立日本中学校	東京	1908		東京	○	○
25	牛尾朋次	1890	県立浜田中学校	島根	1908		東京	○	○
26	佐藤方平	1890	県立仙台第一中学校	宮城	1908	仙台第一中学校補習科（1908.4-1909.4）	札幌	○	○
27	黒沢亮助	1891	私立早稲田中学校	東京	1909		東京	○	○
28	高井次郎	1890	府立天王寺中学校	大阪	1909		東京	○	○
29	阿部六一郎	1890	県立三条中学校	新潟	1908			○	○
30	有井逵天	1889	庁立小樽中学校	北海道	1908		札幌	○	○
31	宮脇勝一	1890	私立北海中学校	北海道	1908		札幌	○	○
32	黒沢義水	1891	県立一関中学校	岩手	1909		東京	○	○
33	山賀芳鈑	1890	県立前橋中学校	群馬	1909		東京	○	
34	仙波嘉清	1888	県立松山中学校	愛媛	1908		東京	○	○
35	後藤収蔵	1889	府立八尾中学校	大阪	1909		東京	○	○
36	鈴木英三	1889	県立第三中学校	青森	1908		東京	○	○
37	実吉吉郎	1890	学習院中等学科	東京	1908	学習院高等学科（1908.4-）	東京	○	○
38	稲垣穎策	1890	県立三条中学校	新潟	1907		東京	○	○
39	相浦藤吉	1888	県立中学伝習館	福岡	1908		東京	○	○
40	松山茂助	1890	県立飯山中学校	長野	1909		東京	○	○
41	早川辰郎	1892	庁立札幌中学校	北海道	1909		札幌	○	○
42	田母神誠	1889	県立長岡中学校	新潟	1908		東京	○	○
43	犬塚悌三	1889	県立荘内中学校	山形	1909	荘内中学校補習科（1909.4-）	札幌	○	○
44	三谷長允	1887	県立第一中学校	島根	1907	第一中学校補習科（1907.4-9）、早稲田高等予備校（1907.9-1908.3）、中央大学予科（1908.3-10,1909.2-）	東京	○	○
45	内藤芳雄	1890	庁立札幌中学校	北海道	1909		札幌	○	○
46	兵藤正俊	1890	県立松山中学校	愛媛	1909		東京	○	○
47	小栗儀造	1884	私立東京中学校	東京	1904	東京物理学校高等予備科（1908.9-1909.3）	東京	○	○
48	三尾純太郎	1890	県立延岡中学校	宮崎	1908		東京	○	
49	上杉恒栄	1887	県立新潟中学校	新潟	1908	新潟中学校補習科（1908.3-8）、明治大学予科（1909.1-）	東京	○	○
50	長谷川浩	1888	専門学校入学者検定試験		1909	錦城中学補習科（1909.4-）	東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
51	立岩精一	1890	県立太田中学校	群馬	1909		東京	○	○
52	橋谷義孝	1888	県立第二中学校	鳥取	1908		東京	○	○
53	山本亮	1890	県立掛川中学校	静岡	1908		東京	○	○
54	堰八愛勲	1889	庁立札幌中学校	北海道	1908		札幌	○	○
55	岩本忠	1889	県立盛岡中学校	岩手	1908	私立正則予備学校普通受験科(1908.9–1909.3)、私立正則英語学校普通受験科(1908.9–1909.5)	東京	○	○
56	富田万吉	1891	県立第一中学校	鳥取	1909		東京	○	○
57	相馬修平	1889	県立新発田中学校	新潟	1909		東京	○	○
58	岡上吉雄	1889	県立高松中学校	香川	1908		東京	○	○
59	新井海治	1890	県立飯田中学校	長野	1909		東京	○	
60	東野谷来三	1887	府立第一中学校	京都	1907		東京	○	○
61	角倉邦彦	1890	東京高等師範学校附属中学校	東京	1908		東京	○	○
62	中村世外雄	1889	私立大成中学校	東京	1908		東京	○	○
63	山本岩男	1887	県立八代中学校	熊本	1907		東京	○	○
64	高橋宣	1887	私立立教中学校	東京	1906		東京	○	○
65	倉石貞三	1888	私立京北中学校	東京	1908	私立中央大学高等予備校(1908.9–)	東京	○	○
66	浜名有蕘	1887	私立東京開成中学校	東京	1906		東京	○	○
67	佐藤定	1888	県立中学済々黌	熊本	1907		東京	○	○
68	森田直之	1889	私立芝中学校	東京	1908	中央大学(1908.9–)	東京	○	○
69	田村譲司	1890	県立第三中学校	青森	1908		東京	○	○
70	宇野貞吉	1886	県立大垣中学校	岐阜	1907		東京	○	○
71	広崎隆一	1889	県立第一中学校	滋賀	1906		東京	○	○
72	稲田昌植	1890	庁立札幌中学校	北海道	1909		札幌	○	○
73	佐藤昂	1889	私立麻布中学校	東京	1908		東京	○	○
74	中城通	1887	私立東北学院普通科	宮城	1908	私立東北学院専門部文科(1908.4–)	東京	○	○
75	許斐徹	1890	県立東筑中学校	福岡	1908		東京	○	○
76	山口勝次	1887	私立順天中学校	東京	1909		東京	○	○
77	小田栄	1888	県立丸亀中学校	香川	1907	私立早稲田高等予備校(1907.9–1908.4)、私立専修高等予備校(1908.4–)	東京	○	○
78	山崎良邦	1888	県立川内中学校	鹿児島	1908		東京	○	○
79	石川潤一	1888	県立荘内中学校	山形	1907		東京	○	○
80	鈴木退蔵	1892	県立韮山中学校	静岡	1909		東京	○	○
81	藤原新太郎	1890	庁立札幌中学校	北海道	1909		札幌	○	○
82	柴田勘助	1889	県立本荘中学校	秋田	1909		東京	○	○
83	村井隆治	1889	県立丸亀中学校	香川	1908		東京	○	○
84	平岩豊	1890	県立柏原中学校	兵庫	1909		東京	○	○
85	吉田甚内	1888	私立大成中学校	東京	1909		東京	○	○
86	杉本昌五郎	1889	県立盛岡中学校	岩手	1907		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
87	矢田貝寛	1888	私立芝中学校	東京	1908		東京	○	○
88	三松経次	1889	私立順天中学校	東京	1909		東京	○	○
89	池上弘	1888	県立第一中学校	三重	1907		東京	○	○
90	突永一枝	1892	私立日彰館中学校	広島	1909		東京	○	○
91	市嶋吉太郎	1889	県立山形中学校	山形	1907		東京	○	○
92	斉藤喜一郎	1890	県立山形中学校	山形	1909		札幌	○	○
93	丸山方	1887	県立会津中学校	福島	1906	私立東京物理学校内私立東京高等予備講習会	東京	○	○
94	小熊掌次郎	1890	県立長岡中学校	新潟	1908		東京	○	○
95	亀山源一郎	1892	府立第一中学校	東京	1909		東京	○	○
96	石沢正夫	1887	県立仙台第二中学校	宮城	1907	明治大学(1907.4–)	東京	○	○
97	清水時雄	1890	県立上田中学校	長野	1909		東京	○	○
98	飯田次郎	1890	県立佐渡中学校	新潟	1908		東京	○	○
99	大坂綱枝	1888	庁立札幌中学校	北海道	1908	庁立札幌中学校補習科(1908.4–1909.6)	札幌	○	○
100	田中慶夫	1890	県立八代中学校	熊本	1907		東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0168「大学予科入学志願書　合格　明治四十二年」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1909年７月９日付『官報』14ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十二年至明治四十三年』（1909年12月）の「学生生徒」（1909年11月15日現員）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表３　1910年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	野田信与	1886	県立熊本中学校	熊本	1908		東京	○	○
2	小堀九平	1890	県立佐野中学校	栃木	1908		東京	○	○
3	滝口朋之	1891	県立三次中学校	広島	1909		東京	○	○
4	小松八郎	1891	県立安積中学校	福島	1909		東京	○	○
5	三島主一	1889	県立長岡中学校	新潟	1908		東京	○	○
6	山田三子男	1891	私立成城学校中学科	東京	1909		東京	○	○
7	内藤正雄	1890	県立野沢中学校	長野	1908		東京	○	○
8	工藤三郎	1886	県立盛岡中学校	岩手	1904	第七高等学校造士館大学予科二部甲類(1907.9–1909.5)	東京	○	○
9	品川秀三	1889	県立豊浦中学校	山口	1909		東京	○	○
10	野田幸猪	1890	県立第二中学校	高知	1910		東京	○	○
11	中村佐一	1891	県立盛岡中学校	岩手	1910		東京	○	○
12	田中稔	1890	県立第一中学校	青森	1909		東京	○	○
13	小田真吾	1892	広島高等師範学校附属中学校	広島	1910		東京	○	○
14	服部正相	1892	庁立札幌中学校	北海道	1910		札幌	○	○
15	山内謙	1889	府立第四中学校	京都	1910		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
16	根矢亀次郎	1890	私立京華中学校	東京	1908			○	○
17	佐藤隆太郎	1891	県立横手中学校	秋田	1909		東京	○	○
18	渡瀬次郎	1891	私立青山学院中等科	東京	1909		東京	○	○
19	山田三郎	1893	私立商工中学校	東京	1910		東京	○	○
20	清水小次郎	1891	東京高等師範学校附属中学校	東京	1909	早稲田高等予備校（1909.9–1910.3）	東京	○	○
21	北村卓爾	1889	県立甲府中学校	山梨	1907		東京	○	○
22	加藤品三	1890	県立第一中学校	愛知	1909		東京	○	○
23	田沼福之助	1890	私立埼玉中学校	埼玉	1910		東京	○	○
24	時田民治	1892	庁立小樽中学校	北海道	1910		東京	○	○
25	横山芳介	1891	東京高等師範学校附属中学校	東京	1909		東京	○	○
26	岩崎二三	1891	県立東筑中学校	福岡	1909		東京	○	○
27	小樋山荘松	1886	県立新潟中学校	新潟	1907		東京	○	○
28	中山若枝	1890	私立北海中学校	北海道	1910		札幌	○	○
29	鷲山義直	1887	県立高岡中学校	富山	1906		東京	○	○
30	三角哲夫	1891	県立広島中学校	広島	1910		東京	○	○
31	馬淵斗升	1890	県立浜松中学校	静岡	1910		東京	○	○
32	山本不可思	1888	県立川内中学校	鹿児島	1909		東京	○	○
33	阿部五郎	1892	県立新潟中学校	新潟	1910		東京	○	○
34	山田三平	1890	県立川越中学校	埼玉	1909		東京	○	○
35	野村満	1888	私立東京中学校	東京	1910		東京	○	○
36	有馬正純	1889	県立加治木中学校	鹿児島	1908		東京	○	○
37	出納陽一	1890	県立臼杵中学校	大分	1909		東京	○	○
38	林吉夫	1889	私立耐久中学校	和歌山	1908		東京	○	○
39	渡辺俊三	1890	県立山形中学校	山形	1908		札幌	○	○
40	吉田甦一	1890	県立福井中学校	福井	1908		東京	○	○
41	山田要	1889	県立会津中学校	福島	1908		東京	○	○
42	松浦太市	1889	私立慶應義塾普通部	東京	1910		東京	○	○
43	浜口栄次郎	1892	県立田辺中学校	和歌山	1910		東京	○	○
44	百崎富弘	1889	府立第一中学校	東京	1907		東京	○	
45	青山醇一郎	1890	県立第一中学校	三重	1908		東京	○	○
46	真島平三郎	1890	県立新潟中学校	新潟	1909		東京	○	○
47	奥居菊蔵	1889	府立天王寺中学校	大阪	1909		東京	○	○
48	井口重次	1888	私立北海中学校	北海道	1908		札幌	○	○
49	森順平	1889	私立日本中学校	東京	1908		東京	○	○
50	栗田繁芳	1890	県立第一中学校	神奈川	1910		東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0169「大学予科入学願書　明治四拾参年七月」による。

２）「入学許可」は、「入学許可」（1910年７月15日付『官報』12ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを表す。

３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十三年至明治四十四年』（1910年12月）の「学生生徒」（1910年９月12日現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表４　1911年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	近藤金助	1892	県立福井中学校	福井	1911		—／無試験	○	○
2	下島岩三	1891	県立諏訪中学校	長野	1911		東京／無試験	○	○
3	野中時雄	1893	私立東京開成中学校	東京	1911		東京／無試験	○	○
4	樋口桜五	1894	私立東京開成中学校	東京	1911		東京／無試験	○	○
5	小田稔	1891	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌／無試験	○	○
6	徳岡松雄	1894	府立第一中学校	京都	1911	府立第一中学校補習科(1911.3-)	東京／無試験	○	○
7	狐崎信夫	1890	県立盛岡中学校	岩手	1909		東京	○	○
8	大山於菟治郎	1890	県立荘内中学校	山形	1909		東京	○	○
9	渡辺侃	1893	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌	○	○
10	奥田或	1893	県立第一中学校	愛知	1911		東京	○	○
11	三井三千三	1892	県立甲府中学校	山梨	1910		東京	○	○
12	谷口和良	1891	私立京華中学校	東京	1910		東京	○	○
13	神永篤三郎	1891	県立大田原中学校	栃木	1909		東京	○	○
14	中村彬	1891	私立芝中学校	東京	1910		東京	○	○
15	内藤虎太郎	1891	私立攻玉社中学校	東京	1910		東京	○	○
16	佐々木周三	1892	県立熊谷中学校	埼玉	1911		東京	○	○
17	蔭山秀夫	1891	庁立上川中学校	北海道	1910		札幌	○	○
18	二木春松	1890	県立斐太中学校	岐阜	1909		東京	○	○
19	村上劼	1893	県立玉名中学校	熊本	1911		東京	○	○
20	宇喜多甫	1892	県立高松中学校	香川	1911		札幌	○	○
21	杉村敬三	1894	県立第二中学校	三重	1911		東京	○	○
22	久野貞	1892	県立浜松中学校	静岡	1910	金沢医学専門学校(1910.9-1911.5)	東京	○	○
23	川端満三	1891	県立第四中学校	三重	1909		東京	○	○
24	武田晴四郎	1890	県立浜松中学校	静岡	1910		東京	○	○
25	小瀬伊俊	1893	県立秋田中学校	秋田	1911		東京	○	○
26	佐藤永三郎	1889	県立横手中学校	秋田	1909		東京	○	○
27	田村有年	1891	府立天王寺中学校	大阪	1910		東京	○	○
28	粟野亀蔵	1891	県立大垣中学校	岐阜	1910		東京	○	○
29	鈴木定与	1890	県立前橋中学校	群馬	1910		東京	○	○
30	宇賀武俊	1890	私立麻布中学校	東京	1908		東京	○	○
31	小笠原金亮	1894	庁立函館中学校	北海道	1911			○	○
32	三宅斌	1892	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌	○	○
33	太田武五郎	1890	県立沼津中学校	静岡	1908		東京	○	○
34	見坊兼光	1891	県立盛岡中学校	岩手	1909		東京	○	○
35	栗田伸造	1892	府立第四中学校	東京	1910		東京	○	○
36	西川竜太郎	1892	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌	○	○
37	湯山弁策	1891	県立沼津中学校	静岡	1909		東京	○	○
38	沢田退蔵	1893	県立鳥取中学校	鳥取	1911		東京	○	○
39	宇治川渉	1892	私立京華中学校	東京	1910		東京	○	○
40	外崎修治	1890	私立早稲田中学校	東京	1909		東京	○	○
41	鈴木正夫	1892	県立木更津中学校	千葉	1911		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
42	辻良介	1892	県立掛川中学校	静岡	1910		東京	○	○
43	西田近太郎	1891	私立埼玉中学校	埼玉	1910		東京	○	○
44	喜多長右衛門	1893	県立五条中学校	奈良	1910		東京	○	○
45	本間勇児	1893	庁立小樽中学校	北海道	1910		東京	○	○
46	中原尚義	1891	県立第二鹿児島中学校	鹿児島	1910	私立専修大学（1910.9-）	東京	○	○
47	三神修	1892	県立甲府中学校	山梨	1910		東京	○	○
48	熊木勘治	1892	県立郡山中学校	奈良	1910		東京	○	○
49	井上音次郎	1891	府立市岡中学校	大阪	1910		東京	○	○
50	秋場孝平	1892	府立第三中学校	東京	1911		東京	○	○
51	早田稔	1891	県立中学修猷館	福岡	1910		東京	○	○
52	福山伍郎	1891	県立松江中学校	島根	1910		東京	○	○
53	川上清爾	1892	県立長岡中学校	新潟	1909		東京	○	○
54	本橋平一郎	1890	私立松戸中学校	千葉	1909		東京	○	○
55	堀川共福	1890	県立第一中学校	三重	1910	県立第一中学校補習科（1910.4-9）、明治大学予科商科（1910.9-）	東京	○	○
56	栃木功	1892	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌	○	○
57	黒岩敏治	1891	県立前橋中学校	群馬	1910		東京	○	○
58	田辺武雄	1891	私立逗子開成中学校	神奈川	1910		東京	○	○
59	佐々木善次郎	1892	県立盛岡中学校	岩手	1911		東京	○	○
60	平賀耕吉	1891	府立天王寺中学校	大阪	1911		東京	○	○
61	米田実造	1889	私立京北中学校	東京	1911		札幌	○	○
62	渡辺政之助	1892	県立田辺中学校	和歌山	1911		東京	○	○
63	大場鉄三郎	1891	庁立札幌中学校	北海道	1909		東京	○	○
64	中根幸雄	1890	県立東筑中学校	福岡	1911		東京	○	○
65	渡辺清	1892	私立錦城中学校	東京	1911		東京	○	○
66	篠原新英	1890	県立甲府中学校	山梨	1910		東京	○	○
67	徳田貞	1893	県立第一中学校	神奈川	1911		東京	○	○
68	田村恭助	1891	県立栃木中学校	栃木	1910		東京	○	○
69	中川新作	1893	県立徳島中学校	徳島	1911		東京	○	○
70	北村達郎	1890	府立第三中学校	東京	1910		東京	○	○
71	天野文助	1891	県立静岡中学校	静岡	1910		東京	○	○
72	太田俊賢	1891	県立荘内中学校	山形	1910		東京	○	○
73	加藤滋	1892	広島高等師範学校附属中学校	広島	1911		東京	○	○
74	足立啓次	1891	県立第三中学校	神奈川	1910		東京	○	○
75	有賀一郎	1892	庁立小樽中学校	北海道	1910		東京	○	○
76	宮川直衛	1890	県立松本中学校	長野	1909		東京	○	○
77	伊藤一雄	1893	庁立札幌中学校	北海道	1911		札幌	○	○
78	相田幾次郎	1893	県立佐渡中学校	新潟	1910		東京	○	○
79	田中義幸	1892	庁立札幌中学校	北海道	1910		札幌	○	○
80	井上智	1892	県立島原中学校	長崎	1910		東京	○	○
81	蔭山忠夫	1893	庁立上川中学校	北海道	1911		札幌	○	○
82	杉田静吾	1892	私立東京開成中学校	東京	1909		東京	○	○
83	三村直憲	1889	県立郡山中学校	奈良	1908		東京	○	○
84	白勢義雄	1891	県立新発田中学校	新潟	1911		東京	○	○
85	若林弘美	1891	県立富山中学校	富山	1910		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
86	西嶋彩一郎	1892	郡立榛原中学校	静岡	1910		東京	○	○
87	岡見聞多	1893	私立青山学院中等科	東京	1910		東京		1912 1年
88	上羽義信	1888	私立芝中学校	東京	1909		東京		1912 1年
89	堀三千雄	1893	私立麻布中学校	東京	1910		東京		1912 2年
90	鷹尾鉱一	1891	県立静岡中学校	静岡	1910		東京		1912 1年
91	押田七郎兵衛	1889	県立粕壁中学校	埼玉	1910		東京		1912 1年
92	季村一郎	1891	県立盛岡中学校	岩手	1909		東京		
93	小川巖	1892	私立明倫中学校	愛知	1910		東京		1912 2年
94	中館武左エ門	1891	県立盛岡中学校	岩手	1910		東京		
95	佐藤清	1893	庁立札幌中学校	北海道	1910		東京		1912 1年
96	折田有義	1891	府立第一中学校	京都	1910		東京		1912 1年
97	永井藤次郎	1890	庁立上川中学校	北海道	1909		東京		1912 1年
98	川島剛一	1890	庁立札幌中学校	北海道	1909		札幌		1912 2年
99	近藤章	1892	県立岐阜中学校	岐阜	1910		東京		1912 1年
100	蟹江猶弓	1891	県立第三中学校	愛知	1909		東京		1912 1年

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0170「予科入学願書　入学許可ノ分　明治四拾四年七月」による。なお、「受験地」は、無試験入学希望者について「／無試験」と追記して示した（以下、同じ）。

２）「入学許可」は、「入学許可」（1911年７月17日付『官報』12ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを表す。

３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自明治四十四年至明治四十五年』（1911年７月）の「学生生徒」（1911年７月現在）における記載の有無を示す。「○」は大学予科第１年級在籍を表し、「1912　１年」と「1912　２年」は当該年度には記載がなく、翌年の『東北帝国大学農科大学一覧　自大正元年至大正二年』（1912年12月）の「学生生徒」（1912年９月現在）において、それぞれ大学予科第１年級と第２年級に記載があることを表す。

付表５　1912年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	前田三郎	1892	県立第三中学校	愛知	1912		東京／無試験	◎	○
2	沖野丈夫	1895	私立麻布中学校	東京	1912		東京／無試験	◎	○
3	梁哲郎	1893	県立大館中学校	秋田	1912		東京／無試験	◎	○
4	住田守一	1893	庁立上川中学校	北海道	1912		札幌／無試験	◎	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
5	木原均	1893	私立麻布中学校	東京	1910		東京	○	○
6	篠原悦郎	1894	県立甲府中学校	山梨	1911		東京	○	
7	及川陸郎	1891	県立盛岡中学校	岩手	1909		東京	○	○
8	永井了吉	1893	県立千葉中学校	千葉	1911		東京	○	
9	山本和成	1893	県立高岡中学校	富山	1911		東京	○	○
10	大島幸吉	1893	庁立札幌中学校	北海道	1912		札幌	○	○
11	蜷川睦之助	1891	私立日本中学校	東京	1910		東京	○	○
12	小倉三郎	1893	府立第三中学校	東京	1911		東京	○	
13	末光千代太郎	1893	県立宇和島中学校	愛媛	1912		東京	○	○
14	菊地英男	1891	県立第一中学校	愛知	1911		東京	○	○
15	新城一	1894	県立秋田中学校	秋田	1912		札幌	○	○
16	久保愛之助	1893	庁立札幌中学校	北海道	1912		札幌	○	○
17	栃内吉彦	1893	府立第一中学校	東京	1911		東京	○	○
18	三宅捷	1894	庁立札幌中学校	北海道	1912		札幌	○	○
19	一色周知	1892	県立五条中学校	奈良	1910		札幌	○	○
20	稲垣宗二郎	1889	県立彦根中学校	滋賀	1909	第四高等学校（1909.9–1911.9）、中央大学予科（1912.4–）	東京	○	
21	飯島誠	1894	県立和歌山中学校	和歌山	1912		札幌	○	○
22	佐藤文喜	1889	県立仙台第一中学校	宮城	1906	仙台高等工業学校土木科（1911.4–不明）	東京	○	○
23	西村治巳	1893	県立長野中学校	長野	1911		東京	○	○
24	奥村清久	1892	私立大成中学校	東京	1911		東京	○	○
25	黒川鷹揚	1894	私立東京開成中学校	東京	1912		東京	○	○
26	藤井武平	1891	県立安積中学校	福島	1911		東京	○	○
27	入江才次郎	1892	私立北海中学校	北海道	1912		札幌	○	
28	花島周一	1893	県立韮山中学校	静岡	1911		東京	○	○
29	大島坦路	1892	県立大垣中学校	岐阜	1911		東京	○	○
30	永野信	1890	私立修道中学校	広島	1911		東京	○	○
31	門田治郎吉	1892	府立第二中学校	京都	1910		東京	○	○
32	西村郁允	1893	私立商工中学校	東京	1912		東京	○	○
33	青木邦雄	1893	県立大垣中学校	岐阜	1911	明治予備校（1911.9–）	東京	○	○
34	大塚一郎	1892	県立第一神戸中学校	兵庫	1911		東京	○	○
35	松縄鉄太郎	1893	県立高田中学校	新潟	1911		東京	○	○
36	三田智大	1893	私立麻布中学校	東京	1911		東京	○	○
37	北見義男	1894	県立新潟中学校	新潟	1911		東京	○	○
38	伊藤頼平	1892	県立西条中学校	愛媛	1911		東京	○	○
39	鷺山正次郎	1892	私立立教中学校	東京	1912		東京	○	○
40	安原登理	1892	県立米沢中学校	山形	1911		東京	○	○
41	今井健郎	1893	府立第四中学校	東京	1911		東京	○	
42	中村壱三	1890	私立東京開成中学校	東京	1911	私立東京開成中学校補習科（1911.4–）	東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
43	春田光治	1894	県立第三中学校	愛知	1912		東京	○	○
44	押上昌喬	1893	私立大成中学校	東京	1911		東京	○	○
45	鈴木好一郎	1889	私立松戸中学校	千葉	1909	私立明治大学予科(1909.4-10)	東京	○	○
46	庄司弥造	1890	県立青森中学校	青森	1910	県立青森中学校補習科(1910.4-9)、私立早稲田中学校補習科(1910.10-1911.9)	東京	○	○
47	溝口忠男	1893	県立佐賀中学校	佐賀	1912		東京	○	○
48	薄井礼介	1892	県立大町中学校	長野	1911	明治大学高等予備校(1911.9-1912.4)、明治大学予科(1912.4-)	東京	○	○
49	宇尾野潔	1891	県立新潟中学校	新潟	1911	私立明治大学(1911.4-)	東京	○	○
50	中山二郎	1889	私立麻布中学校	東京	1908		東京	○	
51	中名生国穂	1892	庁立函館中学校	北海道	1912		東京	○	○
52	荒川直三	1894	県立横手中学校	神奈川	1912		東京	○	
53	志賀恭二	1892	県立広島中学校	広島	1912		東京	○	○
54	寺川貫造	1892	県立高松中学校	香川	1911		東京	○	○
55	今井丁治	1887	私立順天中学校	東京	1906		東京	○	
56	沢山智	1891	県立忠海中学校	広島	1911		東京	○	○
57	大本利一	1890	私立日本体育会荏原中学校	東京	1911	私立日本体育会荏原中学校補習科(1911.4-7)	東京	○	○
58	殿井清太郎	1893	府立今宮中学校	大坂	1911		東京	○	○
59	三島鋭二郎	1892	県立長岡中学校	新潟	1911		東京	○	○
60	岩崎直砥	1894	県立膳所中学校	滋賀	1912		東京	○	○
61	野村勇吉	1893	県立福井中学校	福井	1911		東京	○	○
62	東条美行	1892	県立糸魚川中学校	新潟	1911		東京	○	○
63	津田修一郎	1893	県立浜松中学校	静岡	1911		東京	○	○
64	平岡保	1892	私立明道中学校	広島	1911		東京	○	○
65	足立昌蔵	1893	県立土浦中学校	茨城	1911		東京	○	○
66	飯塚仁四郎	1891	県立下妻中学校	茨城	1911		東京	○	○
67	石川敏	1891	私立麻布中学校	東京	1910		東京	○	○
68	小林一勝	1892	県立長岡中学校	新潟	1910	私立中央大学(1912.1-)	東京	○	○
69	田中国久	1892	県立第二中学校	神奈川	1911		東京	○	○
70	秦政逸	1893	府立第一中学校	京都	1911		東京	○	○
71	餌取光弥	1891	私立明治学院普通学部	東京	1911		東京	○	○
72	伊藤彰造	1894	広島高等師範学校附属中学校	広島	1912		東京	○	○
73	荒川謙吉	1893	私立早稲田中学校	東京	1911		東京	○	○
74	四方敬一	1894	私立関西学院普通科	兵庫	1912		東京	○	○
75	鴇田祐夫	1893	県立千葉中学校	千葉	1912		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
76	小出成五	1892	私立京北中学校	東京	1911		東京	○	○
77	尾本繁	1894	庁立函館中学校	北海道	1912		東京	○	○
78	畑新輔	1891	庁立小樽中学校	北海道	1911		東京	○	○
79	相沢小四郎	1892	県立仙台第二中学校	宮城	1910	私立明治大学予科(1912.1-)	東京	○	○
80	高松三守	1893	県立真岡中学校	栃木	1911	私立早稲田高等予備学校(1911.4-6)、私立国民英学会英語受験科(1912.1-)、私立正則予備学校数学専修科(1912.1-)、同校物理化学科(1912.4-)	東京	○	○
81	菊地庄作	1894	県立水海道中学校	茨城	1912	私立早稲田高等予備校(1912.4-)	東京	○	○
82	森田勝一	1892	県立畝傍中学校	奈良	1912		東京	○	○
83	松本剛一	1893	県立忠海中学校	広島	1912		東京	○	○
84	高氏佐吉	1891	庁立札幌中学校	北海道	1911		東京	○	○
85	板垣信之	1891	県立弘前中学校	青森	1911		東京	○	○
86	大住二十二	1889	県立第一中学校	高知	1908		東京	○	○
87	太田利一	1894	庁立札幌中学校	北海道	1912		札幌	○	○
88	鷲尾弘円	1890	県立第一中学校	三重	1909		東京	○	○
89	井上緑郎	1891	県立岐阜中学校	岐阜	1911	私立早稲田中学校補習科(1911.9-)	東京	○	○
90	井上章	1892	県立福山中学校	広島	1912		東京	○	○
91	岩清水秀夫	1891	県立青森中学校	青森	1912		札幌	○	○
92	宮川久三	1894	県立静岡中学校	静岡	1911		東京	○	○
93	広田直之	1894	県立洲本中学校	兵庫	1911		東京	○	○
94	高野浩	1893	県立柏崎中学校	新潟	1911	私立早稲田高等予備校(1911.9-1912.3)	東京	○	○
95	宇留野祐寿	1892	県立水戸中学校	茨城	1912		東京	○	○
96	亘理四郎	1892	郡立刈田中学校	宮城	1910		東京	○	○
97	小林直材	1894	庁立小樽中学校	北海道	1911		東京	○	○
98	藤井清太郎	1892	県立広島中学校	広島	1912		東京	○	○
99	安藤竜雄	1891	私立錦城中学校	東京	1911	私立錦城中学校補習科(1911.4-9)	東京	○	○
100	大場義雄	1893	県立大垣中学校	岐阜	1911	私立正則予備学校(1911.4-)	東京	○	○
101	館績	1891	県立第二中学校	三重	1911		東京		
102	古川道之助	1890	県立浦和中学校	埼玉	1910		東京		
103	菅井孝	1892	県立佐原中学校	千葉	1911		東京		
104	調武男	1892	県立中学修猷館	福岡	1911	私立中央大学予科	東京		
105	菅井清	1894	県立佐原中学校	千葉	1912		東京		
106	中江深造	1892	県立中学修猷館	福岡	1911		東京		
107	西田智光	1892	県立鳥取中学校	鳥取	1911	早稲田大学高等学校予備科(1911.9-)	東京		
108	渡辺賢三	1893	私立成城学校中学科	東京	1911		東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
109	二宮郁之介	1892	県立対馬中学校	長崎	1912		東京		
110	須賀寛郎	1892	県立第三中学校	高知	1912		東京		
111	栗原清一	1890	県立東筑中学校	福岡	1911		東京		
112	藤山嘉蔵	1888	三重県師範学校第二部	三重	1909	猪田尋常高等小学校(奉職、1909.4-)	東京		
113	渡辺豊	1890	県立水海道中学校	茨城	1909		東京		
114	福島清	1893	私立北海中学校	北海道	1912		札幌		
115	落合忠雄	1895	庁立上川中学校	北海道	1912		札幌		
116	渡辺隆次郎	1893	県立横手中学校	秋田	1911		東京		
117	池添馨	1888	県立秋田中学校	秋田	1909		東京		
118	三村善之亮	1893	県立鳥取中学校	鳥取	1912		東京		
119	笠原台介	1888	県立岡山中学校	岡山	1909		東京		
120	小川東洋	1890	府立第三中学校	京都	1911		東京		
121	難波虎男	1889	県立津山中学校	岡山	1909		東京		
122	積敏雄	1892	県立熊本中学校	熊本	1911		東京		
123	下村俊次郎	1894	府立市岡中学校	大阪	1912		東京		
124	内田真道兄	1892	県立津山中学校	岡山	1909		東京		
125	相沢衆平	1894	県立甲府中学校	山梨	1912		東京		
126	内山良一	1892	県立大野中学校	福井	1911		東京		
127	山田英吉	1893	県立山口中学校	山口	1912		東京		
128	塚本純一	1892	府立第一中学校	京都	1912		東京		
129	窪田悠三郎	1892	府立第一中学校	京都	1912		東京		
130	今泉良二	1892	県立安積中学校	福島	1911		東京		
131	池田龍介	1892	私立麻布中学校	東京	1912		東京		
132	藤中正	1890	私立中学閑谷黌	岡山	1911		東京		
133	山口康	1894	私立麻布中学校	東京	1912		東京		
134	山田宎	1890	私立商工中学校	東京	1911		東京		
135	室木卯吉郎	1891	県立七尾中学校	石川	1911		東京		
136	村井義正	1891	県立畝傍中学校	奈良	1911		東京		
137	三宅琢二	1893	私立興譲館中学校	岡山	1910		東京		
138	小田辰三	1892	県立第四中学校	愛知	1911		東京		
139	久保了介	1891	県立佐賀中学校	佐賀	1910				
140	上田耕一	1891	県立仙台第二中学校	宮城	1910		東京		
141	小川竹丸	1891	県立第二中学校	神奈川	1911		東京		
142	福田豊	1892	県立徳山中学校	山口	1912		東京		
143	渡辺秀三	1892	県立第二中学校	愛知	1911		東京		
144	狩野正平	1893	県立前橋中学校	群馬	1912		東京		
145	井上清一	1893	県立高松中学校	香川	1911		東京		
146	武田正義	1892	県立高松中学校	香川	1911		東京		
147	松永湊	1892	県立前橋中学校	群馬	1911		東京		
148	吉田保雄	1889	県立仙台第二中学校	宮城	1910		東京		
149	山田正一	1893	県立徳山中学校	山口	1911		東京		
150	鈴木国吉	1892	県立古川中学校	宮城	1911		東京		
151	西村耕一	1889	私立鴻城中学校	山口	1911		東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
152	高田民郎	1891	県立第二中学校	三重	1909	私立正則英語学校(1909.4-1910.6)、私立中央大学高等予備校(1910.9-)	東京		
153	家崎繁之助	1892	私立東京開成中学校	東京	1911		東京		
154	田村九朗	1891	私立修道中学校	広島	1911		東京		
155	田中丸政六	1892	県立小城中学校	佐賀	1912		東京		
156	松崎周介	1891	県立萩中学校	山口	1911		東京		
157	谷快亘	1890	県立中学修猷館	福岡	1911		東京		
158	伊藤運炳	1890	庁立札幌中学校	北海道	1910		東京		
159	田所篤三郎	1893	庁立札幌中学校	北海道	1912		札幌		
160	竹林誠一	1895	庁立函館中学校	北海道	1912		札幌		
161	横山豊五郎	1893	県立青森中学校	青森	1911		東京		
162	内藤五郎	1893	私立攻玉社中学校	東京	1912		東京		
163	秋月胤正	1894	県立会津中学校	福島	1912	私立早稲田高等予備校(1912.4-)	東京		
164	松浦三平	1892	私立北海中学校	北海道	1911		東京		
165	佐藤久成	1893	県立秋田中学校	秋田	1912		東京		
166	飯田徹	1892	私立東京中学校	東京	1911		東京		
167	小磯愛雄	1888	県立第二鹿児島中学校	鹿児島	1909		東京		
168	郡喜重	1890	県立中学猶興館	長崎	1910		東京		
169	末広三男	1891	県立岩国中学校	山口	1911		東京		
170	守田末雄	1888	私立高輪中学校	東京	1910		東京		
171	中村次郎	1892	府立今宮中学校	大阪	1911		東京		
172	水上静	1890	私立正則中学校	東京	1911		東京		
173	田中伝三郎	1891	県立千葉中学校	千葉	1911	早稲田高等予備校(1911.9-1912.3)、明治大学予科(1912.4-)	東京		
174	長谷川保	1893	私立成城学校中学科	東京	1911		東京		
175	丸地倫二	1892	県立第四中学校	愛知	1911		東京		
176	山下磐夫	1893	県立姫路中学校	兵庫	1911		東京		
177	泉田千秋	1893	県立魚津中学校	富山	1911	私立早稲田高等予備校(1911.9-1912.3)	東京		
178	須野崎文彦	1891	私立明倫中学校	愛知	1910		東京		
179	須藤弥平治	1891	県立新庄中学校	山形	1910	法政大学大学予科(1912.4-)	東京		
180	前田利紹	1892	私立日本済美学校中学部	東京	1911		東京		
181	高橋蒨吉	1894	県立大垣中学校	岐阜	1912		東京		
182	阿多温	1892	私立麻布中学校	東京	1911		東京		
183	山林暹	1895	府立今宮中学校	大阪	1912		東京		
184	豊島忠男	1894	県立福井中学校	福井	1912		東京		
185	神崎三男	1891	県立宮崎中学校	宮崎	1911		東京		
186	椎木彦輔	1889	県立徳山中学校	山口	1911		東京		

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
187	松江喜代誌	1890	県立安積中学校	福島	1909		東京		
188	小片信	1892	県立長岡中学校	新潟	1911		東京		
189	沖貞次	1889	県立第一中学校	愛知	1911		東京		
190	庄司孝太郎	1886	私立京北中学校	東京	1908	私立中央大学（1908.3-1910.9）、私立日本大学（1911.3-）	［東京］		
191	大堀吉郎	1891	県立千葉中学校	千葉	1911	私立専修学校高等予科（1911.9-）	東京		
192	佐藤子之吉	1891	県立荘内中学校	山形	1912		東京		
193	鳥越吉三	1887	県立川辺中学校	鹿児島	1908		東京		
194	岩崎寛	1893	県立飯田中学校	長野	1912		東京		
195	山之内種治	1891	県立加治木中学校	鹿児島	1909		東京		
196	真野潔	1891	県立第二中学校	三重	1910		東京		
197	土肥政次郎	1893	府立市岡中学校	大阪	1912		東京		
198	妹背淳一	1890	県立粉河中学校	和歌山	1908		東京		
199	甲斐荘楠郷	1889	府立第一中学校	京都	1911		東京		
200	宮田清	1891	私立鎮西中学校	熊本	1910	小学校教員（1910-1912）	東京		
201	菅原金助	1892	県立築館中学校	宮城	1911		東京		
202	小安徳三郎	1888	私立海城中学校	東京	1907		東京		
203	山崎金次郎	1890	県立新潟中学校	新潟	1911		東京		
204	豊島孝衛	1890	私立東京中学校	東京	1912		東京		

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、№１～№100は帝国大学期簿書0171「大学予科入学願書　明治四十五年七月」に、№101～№204は帝国大学期簿書0172「大学予科入学願書　弐冊ノ内　大正元年九月」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1912年７月13日付『官報』９ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正元年至大正二年』（1912年12月）の「学生生徒」（1912年９月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表６　1913年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	江村徳蔵	1895	庁立札幌中学校	北海道	1913		札幌／無試験	◎	○
2	長谷川一雄	1895	庁立上川中学校	北海道	1913		—／無試験	◎	○
3	篠崎修三	1894	県立千葉中学校	千葉	1913		東京／無試験	◎	○
4	池田太平	1893	私立北海中学校	北海道	1913		札幌／無試験	◎	○
5	福士貞吉	1894	県立弘前中学校	青森	1913		—／無試験	◎	○
6	斉藤民次郎	1894	県立弘前中学東奥義塾	青森	1913		東京／無試験	◎	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
7	古茂田甲午郎	1894	県立太田中学校	茨城	1912		東京	○	
8	西山弥太郎	1893	私立錦城中学校	東京	1912		東京	○	
9	向笠金吾	1891	私立大成中学校	東京	1912		東京	○	
10	加茂正次	1895	府立市岡中学校	大阪	1912		東京	○	○
11	佐治正一	1894	県立第一中学校	三重	1911		東京	○	○
12	安藤威	1895	県立千葉中学校	千葉	1912		東京	○	○
13	池浦虎雄	1894	県立長岡中学校	新潟	1911		東京	○	○
14	原禎造	1892	県立萩中学校	山口	1912		東京	○	
15	大沢正之	1894	県立第一中学校	神奈川	1912		東京	○	○
16	五十子順造	1893	府立第二中学校	東京	1912		東京	○	○
17	小松立夫	1893	県立津山中学校	岡山	1913		東京	○	○
18	長瀬津一郎	1893	県立新潟中学校	新潟	1912		東京	○	
19	萱嶋丈夫	1892	県立宮崎中学校	宮崎	1911		東京	○	
20	武者主計	1893	私立東北中学校	宮城	1912		東京	○	○
21	飯田徹	1892	私立東京中学校	東京	1911	東京私立法政大学	東京	○	○
22	田中賤夫	1896	私立芝中学校	東京	1913		東京	○	○
23	武田志麻之輔	1894	私立北海中学校	北海道	1911		東京	○	○
24	金田仲男	1893	県立宇都宮中学校	栃木	1910		東京	○	○
25	荒木繁	1891	県立柏原中学校	兵庫	1911	京都私立法政大学(1911.10–1912.7)、私立中央大学(1913.4–)	東京	○	○
26	坪井清	1895	県立新宮中学校	和歌山	1913		東京	○	
27	近藤寛	1895	私立東京開成中学校	東京	1912		東京	○	○
28	入鹿山成樹	1892	県立第一鹿児島中学校	鹿児島	1912		東京	○	○
29	本郷松之助	1894	私立京華中学校	東京	1912		東京	○	○
30	日野西照公	1894	府立第一中学校	京都	1912		東京	○	○
31	川口栄作	1895	県立沼津中学校	静岡	1912		東京	○	○
32	保多義正	1894	府立第一中学校	東京	1912		東京	○	○
33	有近弥栄	1894	県立山口中学校	山口	1913		東京	○	
34	松野健二	1892	私立海城中学校	東京	1911		東京	○	○
35	秋月胤正	1894	県立会津中学校	福島	1912	私立早稲田高等予備校(1912.4–6)、私立正則英語学校(1912.7–1913.2)、私立研数学館(1912.9–1913.2)	東京	○	○
36	本荘可宗	1891	私立商工中学校	東京	1909		東京	○	○
37	松井虎太	1892	県立中学修猷館	福岡	1912		東京	○	○
38	野口亀吉	1894	県立中学明善校	福岡	1913		東京	○	○
39	小川徹	1893	県立諏訪中学校	長野	1911		東京	○	
40	戸島勇吉	1892	県立中学修猷館	福岡	1912		東京	○	○
41	石井三雄	1896	県立前橋中学校	群馬	1913		東京	○	○
42	山本勲	1894	府立第一中学校	京都	1912		東京	○	○
43	前島豊	1894	県立仙台第一中学校	宮城	1912		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
44	金子平一	1891	私立明治学院普通学部	東京	1913		東京	○	○
45	菊地武直夫	1894	庁立札幌中学校	北海道	1913		札幌	○	○
46	高橋甲子次郎	1893	県立大田原中学校	栃木	1911		東京	○	
47	重富英一	1894	県立山口中学校	山口	1913		東京	○	○
48	真鍋尹正	1894	県立三豊中学校	香川	1912		東京	○	○
49	石河六郎	1893	県立鳥取中学校	鳥取	1912		東京	○	
50	三村親保	1893	県立諏訪中学校	長野	1912		東京	○	○
51	藤崎清	1889	私立海城中学校	東京	1910		東京	○	○
52	山口康	1894	私立麻布中学校	東京	1912		東京	○	
53	千田穎	1892	県立中津中学校	大分	1911		東京	○	○
54	中富貞夫	1893	県立中学明善校	福岡	1912	東京高等予備校（1912.9−）	東京	○	
55	浜脇常二	1894	県立高岡中学校	富山	1911		東京	○	○
56	亀井専次	1893	県立丸亀中学校	香川	1912		東京	○	○
57	和久山善一	1895	府立第四中学校	東京	1913		東京	○	○
58	尾崎紫朗	1894	県立豊岡中学校	兵庫	1912		東京	○	○
59	有馬章	1893	県立福井中学校	福井	1912		東京	○	○
60	大橋武雄	1893	府立第一中学校	東京	1911		東京	○	○
61	熊谷保佐	1892	県立岩国中学校	山口	1911		東京	○	○
62	長谷川兼好	1890	県立第二中学校	三重	1910		東京	○	○
63	日笠清一郎	1892	県立高松中学校	香川	1910		東京	○	○
64	住友勝一	1894	県立徳島中学校	徳島	1913		東京	○	○
65	野上貞夫	1893	県立長野中学校	長野	1911		東京	○	○
66	辻甞雄	1892	県立魚津中学校	富山	1911		東京		
67	榎修吾	1894	庁立札幌中学校	北海道	1913		札幌	○	○
68	小沢照夫	1895	県立延岡中学校	宮崎	1912		東京	○	○
69	草嶋三郎	1895	県立荘内中学校	山形	1913		東京	○	○
70	須藤弥平治	1891	県立新庄中学校	山形	1910	私立専修学校大学予科・経済科（1911.4−）	東京	○	○
71	松室秀夫	1895	私立東京開成中学校	東京	1913		東京	○	○
72	川名一郎	1891	県立第三中学校	神奈川	1909		東京	○	○
73	竹内豊	1893	県立大分中学校	大分	1911		東京	○	○
74	野崎清	1894	県立金沢第一中学校	石川	1912		東京	○	○
75	福田八十楠	1895	県立和歌山中学校	和歌山	1913		東京	○	○
76	大花丑吉	1889	県立会津中学校	福島	1908	福島師範学校本科第二部（1909.4−1910.4）	東京	○	○
77	早川完吾	1894	県立甲府中学校	山梨	1913		東京	○	○
78	池上武雄	1893	県立金沢第一中学校	石川	1912		東京	○	○
79	渡辺弘	1895	庁立札幌中学校	北海道	1913		東京	○	○
80	井上陽之助	1892	県立東筑中学校	福岡	1911		東京	○	○
81	井上千代司	1892	私立広島修道中学校	広島	1912	早稲田高等予備校（1913.1−3）、東京法政大学予科（1913.4−）	東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
82	村野為次	1894	私立東北学院普通科	宮城	1913		東京	○	
83	小林淳吉	1893	私立日本済美学校中学部	東京	1912		東京	○	○
84	中島浅五郎	1892	私立東京中学校	東京	1910		東京	○	○
85	大島常喜	1893	県立中学済々黌	熊本	1912		東京	○	○
86	津田武	1893	県立高岡中学校	富山	1912		東京	○	○
87	小谷一夫	1893	私立海城中学校	東京	1910		東京	○	○
88	柴崎春海	1893	県立大分中学校	大分	1912	私立中央大学予科（1913.3-）	東京	○	○
89	沈鼎	1894	私立暁星中学校	東京	1912		東京	○	
90	野中敏彦	1893	県立竹田中学校	大分	1912		東京	○	○
91	中村次郎	1892	府立今宮中学校	大阪	1911		東京	○	○
92	真島米四郎	1893	県立新潟中学校	新潟	1911		東京	○	○
93	中原孝忠	1893	県立山口中学校	山口	1912		東京	○	
94	豊島忠男	1894	県立福井中学校	福井	1912		東京	○	○
95	山枡忠好	1893	県立米子中学校	鳥取	1913		東京	○	○
96	山田高	1893	県立中学伝習館	福岡	1911	私立明治大学予科（1913.4-）	東京	○	
97	小森増次郎	1894	県立第三中学校	三重	1912		東京	○	○
98	小室小四郎	1894	県立水戸中学校	茨城	1912		東京	○	○
99	藤本紫朗	1891	県立中学明善校	福岡	1912	私立明治大学予科（1912.4-）	東京	○	○
100	林文平	1893	県立徳島中学校	徳島	1912		東京	○	○
101	山田慶治	1893	県立第二中学校	愛知	1912		東京	○	○
102	松岡光雄	1892	県立大垣中学校	岐阜	1911		東京	○	○
103	加藤重光	1893	県立山形中学校	山形	1913		札幌	○	○
104	松尾憲一	1892	県立浜田中学校	島根	1910		東京	○	○
105	丹波六郎	1892	東京高等師範学校附属中学校	東京	1911		東京	○	
106	望月浄蔵	1887	県立静岡中学校	静岡	1905	正則英語学校（1906.9-1907.5）、私立錦城中学校補習科（1908.1-1909.5）、専修学校（1909.9-1910.6）	東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0173「大学予科入学願書　大正二年七月」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1913年７月11日付『官報』10ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正二年至大正三年』（1913年12月）の「学生生徒」（1913年９月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表７　1914年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	中島顕三	1896	県立高松中学校	香川	1914		東京／無試験	◎	○
2	山下二郎	1895	県立小城中学校	佐賀	1914		東京／無試験	◎	○
3	伊東三郎	1891	私立錦城中学校	東京	1912		東京	○	
4	六鹿一彦	1896	府立第五中学校	京都	1914		東京	○	○
5	田村一郎	1894	府立第四中学校	東京	1913		東京	○	○
6	桜井芳次郎	1895	台湾総督府中学校第一部（６学年）	台湾	1914		東京／無試験	○	○
7	山崎勉治	1894	県立新潟中学校	新潟	1912		東京	○	○
8	川島徳行	1894	県立広島中学校	広島	1912	私立早稲田高等予備校(1913.9–1914.3)、私立中央高等予備校(1914.4–)	東京	○	○
9	岡本正司	1894	私立京華中学校	東京	1912	中央大学予科(1913.9–1914.6)	東京	○	
10	原勝	1895	県立岐阜中学校	岐阜	1913		東京	○	○
11	撫養永雄	1895	庁立札幌中学校	北海道	1913		札幌	○	○
12	榎本鈴雄	1887	私立聖学院中学校	東京	1911		東京	○	○
13	福地義二郎	1894	県立膳所中学校	滋賀	1912		東京	○	○
14	田中勝吉	1895	府立北野中学校	大阪	1913		東京	○	○
15	松山健吉	1893	県立米沢中学校	山形	1911		東京	○	○
16	渡辺四郎	1893	県立前橋中学校	群馬	1912		東京	○	○
17	鈴木市五郎	1893	県立長岡中学校	新潟	1911		東京	○	○
18	福間義重	1895	県立松江中学校	島根	1913		東京	○	○
19	小杉方也	1895	県立第一神戸中学校	兵庫	1914		東京	○	○
20	新坂清助	1893	県立宮崎中学校	宮崎	1911		東京	○	○
21	長浜良造	1892	県立七尾中学校	石川	1912		東京	○	
22	小室乙次	1895	私立東京中学校	東京	1913		東京	○	
23	豊田千里	1894	県立真岡中学校	栃木	1912	明治大学高等予備科	東京	○	
24	毛馬内六郎	1889	県立盛岡中学校	岩手	1911		東京	○	○
25	日高覚	1894	県立宮崎中学校	宮崎	1911		東京	○	
26	橋本吉郎	1896	台湾総督府中学校第一部（６学年）	台湾	1914		東京	○	○
27	山名時雄	1893	県立東筑中学校	福岡	1912	中央大学予備校(1914.4–)	東京	○	○
28	小河義夫	1895	県立第一神戸中学校	兵庫	1913		東京	○	○
29	笠島勝治	1894	庁立小樽中学校	北海道	1913		東京	○	○
30	山口朝雄	1894	県立佐賀中学校	佐賀	1912		東京	○	○
31	三武住蔵	1893	私立東京中学校	東京	1912		東京	○	
32	佐藤司	1893	県立盛岡中学校	岩手	1912		東京	○	○
33	田辺武夫	1890	私立逗子開成中学校	神奈川	1908		東京	○	○
34	武田憲治	1895	県立長岡中学校	新潟	1914		東京／無試験	○	○
35	長崎次郎	1895	県立第三中学校	高知	1913		東京	○	○
36	吉田至孝	1894	県立磐城中学校	福島	1912		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
37	門馬武捷	1895	庁立上川中学校	北海道	1914		札幌／無試験	○	○
38	小野純一	1894	私立北海中学校	北海道	1912		東京	○	○
39	竹内節三郎	1895	私立東海中学校	愛知	1913		東京	○	○
40	渡辺九郎	1894	県立矢掛中学校	岡山	1914		東京／無試験	◎	○
41	鈴木武	1896	庁立札幌中学校	北海道	1914		札幌／無試験	◎	○
42	長屋万里	1896	台湾総督府中学校第二部	台湾	1914		—／無試験	◎	○

備考1）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0174「大学予科［入学願書］　其ノ一　大正三年」による。
2）「入学許可」は、「入学許可」（1914年7月7日付『官報』13ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
3）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正三年至大正四年』（1914年12月）の「学生生徒」（1914年9月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第1年級在籍を表す。

付表8　1915年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	岩野拓一郎	1897	県立柏崎中学校	新潟	1915		札幌／無試験	◎	○
2	加納瓦全	1896	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌／無試験	◎	○
3	米倉武男	1897	県立上田中学校	長野	1915		東京／無試験	◎	○
4	日浦徳	1896	私立耐久中学校	和歌山	1915		東京／無試験	◎	○
5	斗ヶ沢賢治	1896	県立盛岡中学校	岩手	1914		東京	○	
6	足立仁	1897	私立東京開成中学校	東京	1915		東京	○	○
7	浅川三男	1894	県立横浜第一中学校	神奈川	1914		東京	○	○
8	梅木郁蔵	1892	県立盛岡中学校	岩手	1911		東京	○	○
9	兼謙蔵	1895	県立第二鹿児島中学校	鹿児島	1913		東京	○	○
10	高橋恭	1895	郡立中学豆陽学校	静岡	1914	私立明治大学予科（1914.10–）	東京	○	○
11	井上実知	1892	私立大成中学校	東京	1912	私立明治大学（1913.9–1915.4）	東京	○	
12	荻生規矩夫	1895	県立千葉中学校	千葉	1913		東京	○	
13	成毛実	1896	県立第一横浜中学校	神奈川	1914		東京	○	
14	渡辺軍次	1894	県立和歌山中学校	和歌山	1913		札幌	○	○
15	佐藤正一	1897	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
16	高原利雄	1895	県立鳥取中学校	鳥取	1914		東京	○	○
17	桜山弘三	1895	県立第一中学校	愛知	1913		東京	○	○
18	椿季信	1894	私立鎮西中学校	熊本	1913		東京	○	○
19	田添元	1893	県立佐賀中学校	佐賀	1912		東京	○	○
20	山本誉	1897	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
21	服部正夷	1897	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
22	富永晴海	1896	県立豊津中学校	福岡	1914		東京	○	○
23	望月重雄	1896	県立甲府中学校	山梨	1914		東京	○	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
24	永井徳	1895	県立仙台第二中学校	宮城	1912	私立明治大学大学予科(1915.3-)	東京	○	○
25	小穴重慶	1896	県立松本中学校	長野	1915		東京	○	○
26	園田一夫	1895	県立豊津中学校	福岡	1914	私立法政大学大学予科(1915.4-)	東京	○	
27	黒住須賀夫	1893	私立麻布中学校	東京	1913	私立明治大学予科	東京	○	○
28	佐橋佳一	1894	私立麻布中学校	東京	1913		東京	○	
29	坂省三	1894	県立荘内中学校	山形	1913		東京	○	○
30	和田為康	1897	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
31	田口宰治	1894	県立津山中学校	岡山	1913	県立岡山中学校補習科(1914.4-9)	東京	○	○
32	渋谷秀雄	1893	県立本荘中学校	秋田	1912		東京	○	○
33	加藤太志	1893	県立東筑中学校	福岡	1912	私立中央高等予備校(1912.9-1913.3)、私立早稲田大学理工科(1914.4-1915.1)	東京	○	○
34	緒方信助	1894	県立中学済々黌	熊本	1913		東京	○	○
35	澄谷泉	1895	県立広島中学校	広島	1914		東京	○	○
36	堀江角蔵	1896	県立第一中学校	三重	1914		東京	○	○
37	上田貞敏	1896	県立第一中学校	愛知	1914		東京	○	○
38	織田五郎	1896	庁立札幌中学校	北海道	1914		札幌	○	○
39	嶋崎保祐	1896	県立静岡中学校	静岡	1914		東京	○	
40	白木新五郎	1895	県立東筑中学校	福岡	1914		東京	○	
41	牧野真人	1894	県立中学伝習館	福岡	1913		東京	○	
42	今田敬一	1896	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
43	伊藤光治	1895	私立北海中学校	北海道	1915		札幌	○	○
44	加藤孝三郎	1895	県立宇都宮中学校	栃木	1914		東京	○	○
45	奥栄次郎	1896	府立第五中学校	京都	1914		東京	○	○
46	原田泰	1897	庁立上川中学校	北海道	1915		札幌	○	○
47	秋山礼三	1895	県立甲府中学校	山梨	1914		東京	○	○
48	三浦富太郎	1897	県立秋田中学校	秋田	1914		東京	○	○
49	村越信夫	1896	県立小田原中学校	神奈川	1913		東京	○	○
50	吉田稔巳	1894	県立福岡中学校	岩手	1912		東京	○	○
51	三宅殖	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1915		札幌	○	○
52	富樫浩吾	1895	県立荘内中学校	山形	1915		札幌	○	○
53	小笠原亀一	1896	県立八戸中学校	青森	1915		東京	○	○
54	西岡勝次	1894	県立佐賀中学校	佐賀	1913		東京	○	○
55	五味義尚	1896	県立甲府中学校	山梨	1915		東京	○	○
56	井沢理兵衛	1894	県立山形中学校	山形	1914		東京	○	○
57	山崎恒	1897	庁立第一札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
58	水沢猛	1896	庁立札幌中学校	北海道	1914		札幌	○	○
59	神吉章	1892	県立姫路中学校	兵庫	1909		東京	○	○
60	松島義積	1894	私立東北学院普通科	宮城	1914		東京	○	
61	平野正策	1898	県立遠野中学校	岩手	1915		東京	○	○
62	寺尾明	1894	県立第一中学校	三重	1913		東京	○	

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
63	倉重四郎	1896	県立中学伝習館	福岡	1914		東京	○	○
64	林弥作	1895	私立錦城中学校	東京	1913		東京	○	
65	清水誠	1894	私立京華中学校	東京	1913		東京	○	○
66	富田巌雄	1893	府立第三中学校	東京	1912		東京	○	○
67	猪俣照治	1890	県立仙台第一中学校	宮城	1909	県立仙台第一中学校補習科(1909.4-7)、国民英学会(1909.9-1910.7)	東京	○	○
68	安井正雄	1896	県立中学修猷館	福岡	1914		東京	○	○
69	小林康雄	1893	私立京華中学校	東京	1911		東京	○	
70	山口義信	1894	県立佐世保中学校	長崎	1914		東京	○	○
71	三浦博亮	1893	県立岐阜中学校	岐阜	1911		東京	○	○
72	高山保二	1894	県立新発田中学校	新潟	1914		東京	○	○
73	五十嵐秀吉	1896	県立荘内中学校	山形	1914		東京	○	○
74	立松一郎	1896	県立第一中学校	愛知	1914		東京	○	
75	中尾勇	1896	県立小城中学校	佐賀	1914		東京	○	○
76	友田愛	1894	庁立上川中学校	北海道	1913		東京	○	○
77	田畑司門治	1895	県立松本中学校	長野	1915		東京	○	○
78	鳴鬼喜雄	1896	県立富岡中学校	徳島	1914		東京	○	○
79	蒲地正	1894	県立唐津中学校	佐賀	1913		東京	○	○
80	国枝国郎	1896	県立第一中学校	三重	1915		東京	○	○
81	河合賢次	1895	県立小野中学校	兵庫	1914		東京	○	○
82	稲川晃	1894	府立第一中学校	東京	1913		東京	○	○
83	宮内俊三	1895	県立成東中学校	千葉	1913		東京	○	○
84	畑長松	1893	県立金沢第一中学校	石川	1912		東京	○	○
85	船越国司	1897	県立八戸中学校	青森	1915		東京	○	○
86	国枝芳雄	1896	県立岐阜中学校	岐阜	1915		東京	○	○
87	藤本虎之助	1896	県立浜田中学校	島根	1915		東京	○	○
88	寺内光雄	1896	県立宇都宮中学校	栃木	1914		東京	○	○
89	田村丙三	1896	府立北野中学校	大阪	1914		東京	○	○
90	春日修一郎	1891	県立諏訪中学校	長野	1911		東京	○	○
91	馬場為二	1895	県立佐賀中学校	佐賀	1914		東京	○	○
92	菊池捷二	1895	県立仙台第一中学校	宮城	1913		東京	○	○
93	浅井順之助	1897	庁立札幌中学校	北海道	1915		札幌	○	○
94	野津手稲蔵	1895	県立志布志中学校	鹿児島	1914		東京	○	
95	緒方尚敏	1895	県立宮崎中学校	宮崎	1914		東京	○	○
96	多湖秀弥	1894	私立東京中学校	東京	1912		東京	○	○
97	藤本吉之助	1897	庁立函館中学校	北海道	1915		札幌	○	○
98	遠藤敬助	1896	県立粕壁中学校	埼玉	1914		東京	○	○
99	岩村義二	1896	県立真岡中学校	栃木	1914		東京	○	○
100	田中友市	1895	県立田辺中学校	和歌山	1913		東京	○	○
101	土屋栄一	1896	県立野沢中学校	長野	1914		東京	○	○
102	石田孝三	1895	県立徳山中学校	山口	1914		東京	○	○
103	大沢与美	1897	県立富岡中学校	徳島	1915		東京	○	○
104	花田乾助	1897	県立岡山中学校	岡山	1915		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
105	蜂屋可一	1894	私立錦城中学校	東京	1911	私立立教学院立教大学(1914.9–)	東京	○	○
106	高橋勝郎	1893	県立盛岡中学校	岩手	1914	中央大学予備校(1914.9–)	東京	○	○
107	那須修	1896	県立鳥取中学校	鳥取	1914		東京	○	○
108	江頭常蔵	1895	庁立上川中学校	北海道	1914		東京	○	○
109	近藤留五郎	1894	県立中学明善校	福岡	1914		東京	○	○
110	遠藤英之助	1897	県立磐城中学校	福島	1914		東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0175「大学予科入学願書　大正四年七月」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1915年７月12日付『官報』13ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正四年至大正五年』（1916年２月）の「学生生徒」（1915年９月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表９　1916年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	高橋悌蔵	1897	私立北海中学校	北海道	1916		札幌／無試験	◎	○
2	樋浦誠	1898	県立巻中学校	新潟	1916		東京／無試験	◎	○
3	犬飼哲男	1897	県立松本中学校	長野	1916		東京／無試験	◎	○
4	伊能芳雄	1898	県立前橋中学校	群馬	1916		東京／無試験	◎	○
5	田代雄治	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌／無試験	◎	○
6	菅原道太郎	1899	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		― ／無試験	◎	○
7	小川栄四郎	1896	県立新庄中学校	山形	1916		― ／無試験	◎	
8	林宇太郎	1897	県立礪波中学校	富山	1916		東京／無試験	◎	
9	林嘉吉	1899	私立有恒学舎	新潟	1916		東京	○	○
10	豊口熊雄	1898	県立弘前中学校	青森	1916		東京	○	
11	有賀晧	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
12	鴨下末吉	1896	私立郁文館中学校	東京	1915		東京	○	○
13	本間不二男	1897	私立京華中学校	東京	1915		東京	○	
14	後藤一雄	1896	府立今宮中学校	大阪	1914		東京	○	○
15	樫野真一郎	1897	県立千葉中学校	千葉	1914		東京	○	○
16	植村泰二	1896	府立第一中学校	東京	1914		東京	○	○
17	阪本進	1897	府立北野中学校	大阪	1914		東京	○	○
18	水野武夫	1897	県立熊本中学校	熊本	1916		東京	○	
19	渡辺久哉	1897	県立会津中学校	福島	1916		札幌	○	○
20	小野崎研造	1896	県立盛岡中学校	岩手	1915		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
21	鹿討豊雄	1899	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		東京	○	○
22	小永井陽	1894	県立佐倉中学校	千葉	1913		東京	○	○
23	今井源四郎	1896	県立前橋中学校	群馬	1914		東京	○	○
24	鈴木菊義	1894	県立徳山中学校	山口	1913		札幌	○	○
25	中村幸彦	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
26	大越覚二郎	1896	県立水海道中学校	茨城	1915		東京	○	○
27	大橋四郎	1895	県立大垣中学校	岐阜	1915		東京	○	○
28	半沢耕貫	1897	県立盛岡中学校	岩手	1914		東京	○	○
29	松本五六	1897	県立広島中学校	広島	1916		東京	○	○
30	海保徳	1891	私立正則中学校	東京	1910		東京	○	○
31	石岡逸郎	1899	府立第四中学校	東京	1916		東京	○	○
32	河野喜兵衛	1895	県立宮崎中学校	宮崎	1914		東京	○	○
33	町田鍠一郎	1896	府立第三中学校	東京	1914		東京	○	○
34	松田武雄	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
35	桜井精兵	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
36	熊谷巖	1893	私立正則中学校	東京	1913		東京	○	○
37	駒沢利雄	1898	県立第二神戸中学校	兵庫	1916		東京	○	○
38	波多野三男雄	1895	県立水戸中学校	茨城	1913		東京	○	○
39	松原多摩喜	1896	私立正則中学校	東京	1914		東京	○	○
40	佐藤一雄	1896	県立小倉中学校	福岡	1915	私立東京開成中学校補習科(1915.9–)	東京	○	○
41	小佐々金三郎	1894	県立平戸中学猶興館	長崎	1913		東京	○	○
42	林勇	1896	県立高松中学校	香川	1915		東京	○	○
43	松野伝	1895	県立青森中学校	青森	1914		東京	○	○
44	加納一郎	1898	府立第一中学校	京都	1916	府立第一中学校補習科(1916.4–)	東京	○	○
45	滝原敏	1897	県立浜田中学校	島根	1915		東京	○	
46	市岡朝祐	1895	県立松本中学校	長野	1915		東京	○	○
47	蓑内収	1896	府立茨木中学校	大阪	1914		東京	○	○
48	田中芳助	1895	県立矢掛中学校	岡山	1915		東京	○	○
49	広田実	1897	県立宇都宮中学校	栃木	1915		東京	○	○
50	金森忠次	1899	県立魚津中学校	富山	1916		東京	○	○
51	原田浩	1896	私立大成中学校	東京	1914		東京	○	○
52	平井左門	1898	県立畝傍中学校	奈良	1916		東京	○	○
53	鈴木孝一	1896	県立掛川中学校	静岡	1915	私立中央大学予科(1916.4–)	東京	○	○
54	益田俊夫	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1915		札幌	○	○
55	広瀬国康	1894	県立第一中学校	神奈川	1913	私立法政大学(1914.4–)	東京	○	○
56	羽田次郎	1897	県立佐渡中学校	新潟	1915		東京	○	
57	佐野宇吉	1895	県立荘内中学校	山形	1915	明治大学高等予備校(1915.4–1916.3)、早稲田大学理工科(1916.4–)	東京	○	○
58	大平領吉	1898	県立第四中学校	三重	1916		東京	○	○
59	藤根吉雄	1895	県立盛岡中学校	岩手	1914		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
60	白田恒太	1895	県立山形中学校	山形	1914		東京	○	○
61	佐々木慰	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
62	大谷静男	1896	県立中学明善校	福岡	1914		東京	○	○
63	綿貫鍇	1898	県立第一横浜中学校	神奈川	1916		東京	○	○
64	平田基	1898	県立浜田中学校	島根	1916		東京	○	○
65	津田雄太郎	1897	県立新宮中学校	和歌山	1915		東京	○	○
66	加藤文次郎	1896	県立荘内中学校	山形	1915		東京	○	○
67	岡崎洋太郎	1898	庁立旭川中学校	北海道	1916		札幌	○	○
68	安田安	1894	県立萩中学校	山口	1914		東京	○	○
69	中野誠一	1897	府立第二中学校	京都	1916		東京	○	○
70	大木金二	1898	県立佐倉中学校	千葉	1915		東京	○	○
71	田中万次郎	1897	県立福山中学校	広島	1915		東京	○	○
72	河村吉三	1898	県立第二中学校	三重	1915		東京	○	○
73	小川三津男	1898	県立第一横浜中学校	神奈川	1916		東京	○	○
74	内田実	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1915		札幌	○	○
75	大林富士夫	1897	私立京北中学校	東京	1914		東京	○	○
76	中川梧郎	1898	私立耐久中学校	和歌山	1916		東京	○	○
77	堀田誠之助	1897	県立第三中学校	愛知	1915		東京	○	○
78	木邨恒蔵	1897	府立四条畷中学校	大阪	1915		東京	○	○
79	森快三	1898	県立川辺中学校	鹿児島	1916		東京	○	○
80	北嶋敏三	1897	県立横手中学校	秋田	1915		東京	○	○
81	本橋正良	1896	県立浦和中学校	埼玉	1914		東京	○	○
82	米谷栄松	1896	県立古川中学校	宮城	1915	明治大学予備校（1915.11–不明）、明治大学予科（1915–）	東京	○	○
83	飯田義治	1899	府立今宮中学校	大阪	1916		東京	○	○
84	大谷謙二	1897	県立松江中学校	島根	1916		東京	○	○
85	渡辺彰	1898	私立東京開成中学校	東京	1916		東京	○	○
86	峰喜市	1895	県立大洲中学校	愛媛	1914		東京	○	○
87	小栗朗	1896	県立掛川中学校	静岡	1914	中央大学大学予科（1915.9–）	東京	○	○
88	河原常次郎	1897	県立神戸第二中学校	兵庫	1916		東京	○	○
89	高松晁	1897	県立水戸中学校	茨城	1916		東京	○	○
90	大須賀国広	1898	県立第一中学校	神奈川	1916		東京	○	○
91	池田一郎	1896	県立佐賀中学校	佐賀	1914		東京	○	○
92	峰秀夫	1897	東京高等師範学校附属中学校	東京	1915		東京	○	○
93	田町以信男	1896	私立東京開成中学校	東京	1915		東京	○	○
94	安達幸衛	1894	県立倉吉中学校	鳥取	1914		東京	○	○
95	梶沼甫	1897	庁立函館中学校	北海道	1915		東京	○	○
96	林佳男	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
97	内田正練	1898	県立浜松中学校	静岡	1915		東京	○	○
98	亀井菊太郎	1897	私立恒学舎	新潟	1915	早稲田高等予備校（1915.9–1916.3）	東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
99	矢島敏彦	1896	私立高千穂中学校	東京	1914	私立明治高等予備校(1914.9-1916.6)	東京	○	○
100	緒方勇	1896	県立中学済々黌	熊本	1914		東京	○	○
101	岡田穂積	1897	県立高田中学校	新潟	1916		東京	○	○
102	樋村五郎	1894	県立上田中学校	長野	1914		東京	○	○
103	並河成資	1897	府立第五中学校	京都	1915		東京	○	○
104	山岸喜久男	1897	県立長野中学校	長野	1916		東京	○	○
105	殖栗亮平	1896	県立長岡中学校	新潟	1915		東京	○	○
106	置塩奇	1895	県立第四中学校	三重	1914	私立明治大学予備校(1914.4-6)、私立明治大学大学予科(1915.3-7)	東京	○	○
107	篠森賢造	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
108	岩間誠	1897	私立錦城中学校	東京	1916		東京	○	○
109	三宅清水	1897	私立麻布中学校	東京	1915		東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、№１～№50は帝国大学期簿書0177「大学予科入学願書（一）　大正五年七月」に、、№51～№109は帝国大学期簿書0178「大学予科入学願書（二）　大正五年七月」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1916年７月11日付『官報』15ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正五年至大正六年』（1916年12月）の「学生生徒」（1916年10月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。

付表10　1917年度大学予科入学志願者

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
1	中鉢四郎	1898	県立新庄中学校	山形	1917		東京／無試験	◎	○
2	長江徹	1897	私立海城中学校	東京	1917		東京／無試験	◎	○
3	渡辺暢	1899	庁立札幌第二中学校	北海道	1917		― ／無試験	◎	○
4	小林茂本	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌／無試験	◎	○
5	黒岩吉之助	1897	県立沼田中学校	群馬	1916		東京	○	○
6	奈良国義	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
7	南須原彦一	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
8	権平昌司	1900	県立村松中学校	新潟	1917		東京	○	○
9	田村常次郎	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
10	鷲見瑞穂	1898	庁立札幌第二中学校	北海道	1917		札幌	○	○
11	上村高直	1896	県立宮崎中学校	宮崎	1916	県立宮崎中学校補習科（1917.4－）	東京	○	○
12	山田文雄	1899	府立第四中学校	東京	1917		東京	○	
13	川崎義徳	1897	県立鹿島中学校	佐賀	1915		東京	○	○
14	本多剛三	1897	県立長岡中学校	新潟	1916		東京	○	○
15	中村幸次	1900	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
16	川村源四郎	1897	県立和歌山中学校	和歌山	1917		東京	○	○
17	河合繁	1896	私立北海中学校	北海道	1916		札幌	○	○
18	岡田太郎	1897	県立岐阜中学校	岐阜	1915		東京	○	○
19	小原博一	1897	県立神戸第二中学校	兵庫	1917		東京	○	○
20	松島義雄	1897	県立小田原中学校	神奈川	1915		東京	○	
21	鳥海敬	1896	私立慶應義塾普通部	東京	1915		東京	○	○
22	山本義彦	1898	庁立函館中学校	北海道	1916		札幌	○	○
23	林幸一	1899	私立芝中学校	東京	1916		東京	○	○
24	野路直	1898	私立京華中学校	東京	1916		東京	○	○
25	渡辺悌蔵	1898	県立安積中学校	福島	1916		東京	○	○
26	前田与三郎	1896	県立佐賀中学校	佐賀	1915		東京	○	○
27	大小嶋真二	1899	府立堺中学校	大阪	1917		東京	○	○
28	須藤直吉	1898	県立本荘中学校	秋田	1917	明治大学附属明治高等予備校（1917.4–）	東京	○	○
29	長田亀雄	1899	県立沼津中学校	静岡	1916	明治高等予備校（1916.10–12）	東京	○	○
30	大門又一	1896	私立東京中学校	東京	1917		東京	○	○
31	坂本順次郎	1897	県立横手中学校	秋田	1917		東京	○	○
32	横畠敬三	1896	県立豊浦中学校	山口	1915		東京	○	○
33	武田政一	1896	県立大多喜中学校	千葉	1915		東京	○	○
34	小松多利松	1898	県立安積中学校	福島	1916		東京	○	○
35	佐藤亀之助	1898	県立仙台第一中学校	宮城	1915		東京	○	○
36	上田秋光	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
37	窪田潔	1897	県立盛岡中学校	岩手	1915		東京	○	○
38	竹江重郎	1898	庁立札幌第二中学校	北海道	1917		札幌	○	○
39	荻野喜代次	1897	私立中学鳳鳴義塾	兵庫	1915		東京	○	
40	今田清二	1899	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
41	松山尚宣	1895	私立東京開成中学校	東京	1912		東京	○	○
42	沢野新一	1894	府立第四中学校	東京	1914		東京	○	○
43	酒井貞次	1898	庁立旭川中学校	北海道	1916		東京	○	○
44	大久保鉄二	1897	県立第一中学校	愛知	1915		東京	○	○
45	坂西義範	1897	県立畝傍中学校	奈良	1915		東京	○	○
46	渋谷武雄	1895	台湾総督府中学校	台湾	1914		東京	○	
47	久富敏行	1898	県立第四中学校	三重	1917		東京	○	○
48	赤沢笹雄	1892	県立松本中学校	長野	1912		東京	○	○
49	戸田早苗	1898	私立商工中学校	東京	1917		東京	○	○
50	照本富雄	1897	県立小野中学校	兵庫	1916		東京	○	○
51	月足憲正	1896	県立八女中学校	福岡	1914		東京	○	○
52	真鍋力二	1895	県立丸亀中学校	香川	1915		東京	○	
53	沢井忍	1895	県立福島中学校	福島	1915		東京	○	○
54	東賢勇	1900	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
55	山崎直樹	1896	県立中学伝習館	福岡	1915		東京	○	○
56	上田保	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
57	吉弘鎮	1897	私立麻布中学校	東京	1915	私立中央大学予科(1917.1-)	東京	○	
58	田中三万石	1897	台湾総督府台北中学校	台湾	1915		東京	○	○
59	降矢寿	1897	府立第二中学校	東京	1916		東京	○	○
60	木村喜太郎	1899	県立秋田中学校	秋田	1916		東京	○	○
61	名須川育	1897	私立京華中学校	東京	1916		東京	○	○
62	江口庸雄	1898	私立龍谷中学校	佐賀	1916		東京	○	○
63	大脇俊一	1899	県立青森中学校	青森	1916		札幌	○	○
64	松崎末治	1894	私立名古屋中学校	愛知	1915		東京	○	○
65	菅原治作	1898	庁立小樽中学校	北海道	1917		東京	○	○
66	辻和三郎	1898	私立錦城中学校	東京	1916		東京	○	○
67	渡辺兵左衛門	1893	県立佐渡中学校	新潟	1916		東京	○	○
68	草島惣治郎	1896	県立荘内中学校	山形	1916		東京	○	○
69	会田盛太郎	1898	県立山形中学校	山形	1916		東京	○	○
70	堀川初夫	1899	県立仙台第一中学校	宮城	1916		東京	○	○
71	高橋良一	1899	県立富岡中学校	群馬	1917		東京	○	○
72	加藤知之	1898	県立第一中学校	愛知	1916	私立明治大学高等予備校(1916.4-)	東京	○	○
73	馬場常次	1896	県立鹿島中学校	佐賀	1916		東京	○	○
74	無津呂半三	1896	県立唐津中学校	佐賀	1916		東京	○	○
75	大関信雄	1897	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		札幌	○	○
76	我妻東策	1897	県立宇都宮中学校	栃木	1915		東京	○	○
77	永友雄	1897	県立宮崎中学校	宮崎	1915		東京	○	○
78	森浩	1896	朝鮮総督府立京城中学校	京城	1916		東京	○	○
79	井上悌治	1897	私立早稲田中学校	東京	1915		東京	○	○
80	渡井茂松	1897	県立甲府中学校	山梨	1916		東京	○	○
81	土田次郎	1899	県立第四中学校	三重	1917		東京	○	○
82	石塚吉朗	1898	県立第二鹿児島中学校	鹿児島	1916		東京	○	○
83	大原弘	1900	県立第一中学校	愛知	1917		東京	○	○
84	加藤浩	1898	私立成田中学校	千葉	1915		東京	○	○
85	当山健三	1897	県立柏崎中学校	新潟	1915	私立法政大学東京高等予備校(1917.4-)	東京	○	○
86	豊原三郎	1899	県立仙台第一中学校	宮城	1916		東京	○	
87	柏原重太郎	1898	県立青森中学校	青森	1916		札幌	○	○
88	辻嘉一	1896	私立中学鳳鳴義塾	兵庫	1916	私立立命館大学(1916.9-)	東京	○	○
89	加藤廉之	1899	庁立札幌第一中学校	北海道	1917		東京	○	○
90	安部弘	1898	県立佐世保中学校	長崎	1916		東京	○	
91	首藤勇郎	1897	県立青森中学校	青森	1915		札幌	○	○
92	西洞院愛雄	1895	府立第五中学校	京都	1916		東京	○	○
93	平川茂登	1897	県立中学伝習館	福岡	1915		東京	○	○
94	藤田篤	1899	府立第一中学校	東京	1917		東京	○	○

番号	氏名	生年	出身校			中学校卒業後の履歴	受験地	入学許可	在籍
			中学校名	道府県	卒業年				
95	大野忠雄	1897	県立厚木中学校	神奈川	1915		東京	○	○
96	田口熊雄	1898	県立横手中学校	秋田	1916		東京	○	○
97	関谷喜一郎	1898	庁立札幌第一中学校	北海道	1916		札幌	○	○
98	佐藤正季	1899	私立北海中学校	北海道	1917		札幌	○	○
99	松田基三	1896	県立仙台第二中学校	宮城	1915		東京	○	○
100	茂野誠衛	1898	県立村松中学校	新潟	1917		東京	○	○
101	岸井栄知雄	1894	庁立函館中学校	北海道	1912	国民英学会（1912.9–1914）	東京	○	○
102	伊達宗雄	1896	県立仙台第二中学校	宮城	1914		東京	○	○
103	井出梓	1899	県立今治中学校	愛媛	1917		東京	○	○
104	飛松亥佐男	1899	県立千葉中学校	千葉	1917		東京	○	○
105	井上乙五郎	1893	府立第二中学校	京都	1912		東京	○	○
106	村松栄	1895	県立青森中学校	青森	1915		札幌	○	○
107	清水浄	1899	県立土浦中学校	茨城	1917		東京	○	○
108	茂木吉之助	1897	県立佐野中学校	栃木	1917		東京	○	○
109	矢野幸臣	1896	県立宇佐中学校	大分	1915		東京	○	○

備考１）「氏名」「生年」「中学校名」「卒業年」「中学校卒業後の履歴」「受験地」は、帝国大学期簿書0179「大学予科入学願書　大正六年七月」による。
２）「入学許可」は、「入学許可」（1917年７月５日付『官報』５ページ）における記載の有無を示し、「○」は記載があることを、「◎」は無試験検定者として記載があることを表す。
３）「在籍」は、入学者の目安として、『東北帝国大学農科大学一覧　自大正六年至大正七年』（1917年12月）の「学生生徒」（1917年11月現在）における記載の有無を示し、「○」は大学予科第１年級在籍を表す。